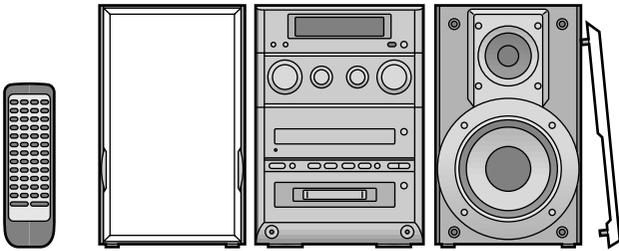


Panasonic®

MD ステレオシステム

取扱説明書

品番 SC-PM30MD



上手に使って上手に節電

保証書別添付



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5147-S



もくじ

まず 確認と準備

安全上のご注意	4
準備をする	7
付属品の確認 / リモコンの準備	7
付属品の接続	8
グライドパネルについて / オートオフ機能を使う / 時計を合わせる / 待機時の節電機能について	10

すぐ 使いたいとき

MD を聞く	12
CD を聞く	14
テープを聞く	16
ラジオを聞く	18
CD を MD に録音する	20
CD をテープに録音する	22

もっと 使いこなしたいとき

MD/CD の聞きかた	24
リピートプレイ / ランダムプレイ / ダイレクトプレイ / プログラムプレイ	
放送局を記憶させて聞く	28
いろいろな録音	30
CD の全曲を録音 / CD から 1 曲を録音	30
CD を MD ・テープに同時録音 / テープを MD に録音 / MD をテープに録音	32
ラジオを MD に録音 / ラジオをテープに録音	34
MD を編集する	36
ムーブ / コンバイン / ディバイド / イレース	
MD にタイトルを付ける	40
タイマーを使う	44
MD ネットワーク機能を使う (MD MD 録音)	48
屋外アンテナ、別売り機器の接続	50
別売り機器を使う	51
便利な機能	52

もし 必要なとき

CD ・ MD ・テープについて / 保管	53-55
お手入れ / 著作権について	55
<small>(お電話の前に一度ご確認を)</small>	
Q & A (よくあるご質問)	56
こんな表示が出たら	57
故障かな!?	58
各部のなまえ	60
保証とアフターサービス	62
主な仕様	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

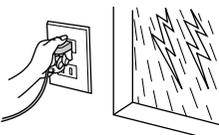
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

 感電の原因になります。

ぬれ手禁止

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

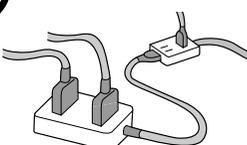
接触禁止
感電の恐れがあります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

 ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

警告

ご使用について

分解、改造したりしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起きたら

以下のようなときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

機器内部に金属や水、異物が入ったとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

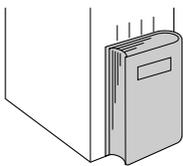
販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

注意

設置・接続について

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
設置・工事は販売店にご相談ください。

以下のことを守り正しく設置する



不安定な場所に置かない
上に大きなもの、重いものを載せない
スピーカーを壁や天井に取り付けない

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する



付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD 挿入口の奥には手を入れない



指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない



倒れたりして、けがの原因になることがあります。

特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。

また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う



- ⊕ と ⊖ は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長期間使用しないときは、取り出しておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使用しない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

準備をする

付属品の確認



接続の前に、まず付属品を確認してください。

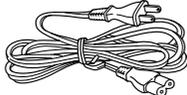
- FM 簡易型アンテナ……………1 本
(品番 RSA0006)



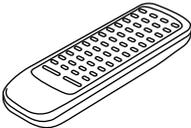
- AM ループアンテナ……………1 本
(品番 RSA0026)



- 電源コード……………1 本
(品番 RJA0059-J)



- リモコン……………1 本
(品番 EUR647200)



- リモコン用単 3 形乾電池……………2 本



お願い

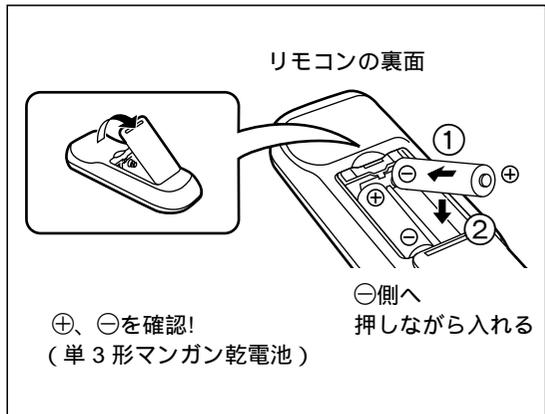
電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

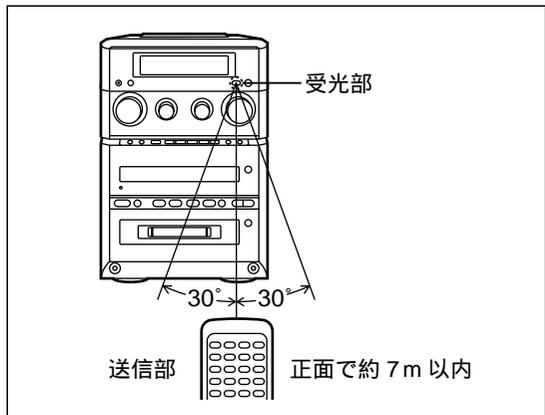
カッコ()内は、買い替え時の品番を表します。

リモコンの準備

乾電池(付属)の入れかた



リモコンの使いかた



使用上のお願い

受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
受光部と送信部のほこりに注意。

故障防止のために

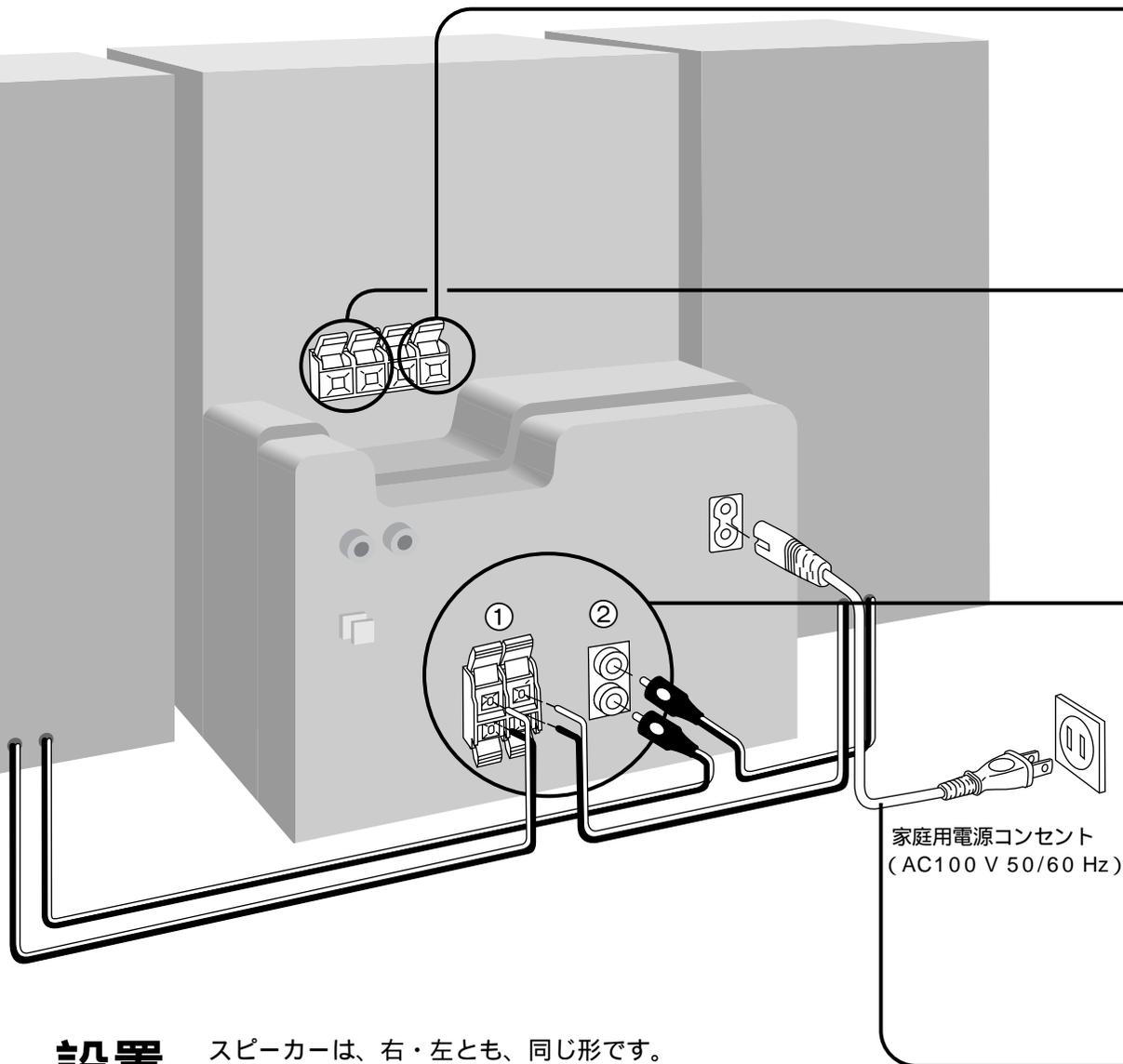
分解、改造しない。
重いものを載せない。
直射日光の当たるところに放置しない。
ジュースなど、液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するときラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

準備をする

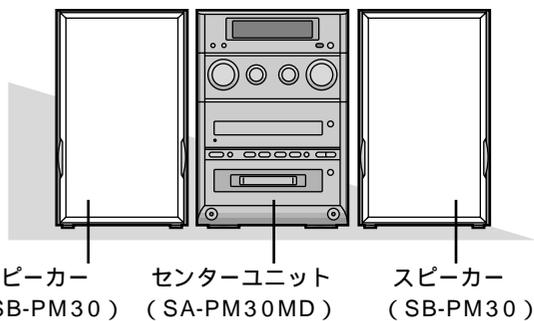
付属品の接続

電源コードは最後に接続します。



設置

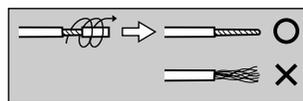
スピーカーは、右・左とも、同じ形です。
どちらに置いてかまいません。



お願い

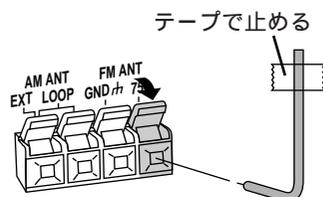
本機のスピーカーは防磁設計ではありません。
テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

準備：FM アンテナ、AM アンテナ、スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。



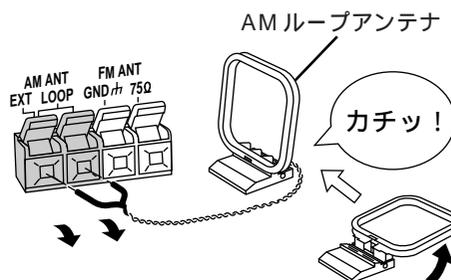
1 FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみてください（⇒ 18・19 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。



2 AM ループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみてください（⇒ 18・19 ページ）雑音の少ない位置に置きます。

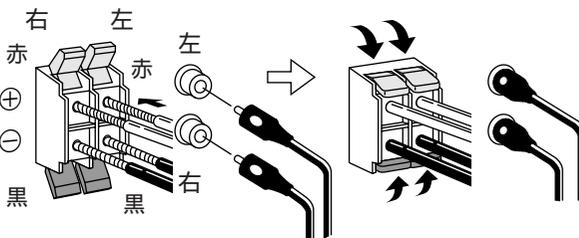


3 スピーカーコード

- ① 端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。
- ② ピンコードをつなぎます。

お願い

付属のスピーカー以外のご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。



4 電源コード

長期間使用しないときは節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリの再設定が必要です。
[POWER ㊦] で電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

ECOモードのとき：約 0.35 W

NORMALモードのとき：約 8.5 W

本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約 2 週間保持されます。

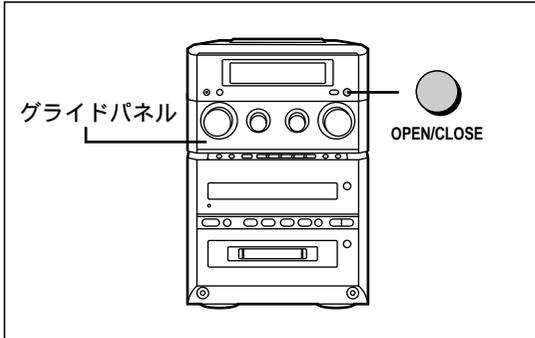
ご使用前に

付属品の接続

準備をする

グライドパネルについて

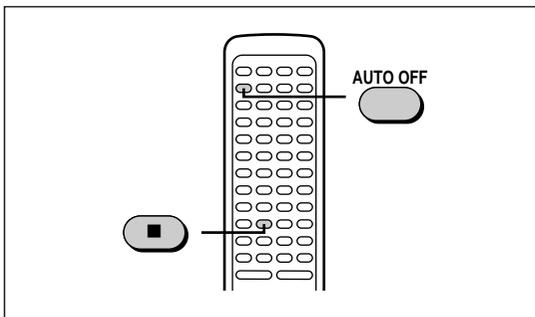
電源を入れるとグライドパネルが自動的に開きます。電源を切ると、自動的に閉まります。



電源「入」時にグライドパネルを閉める

[OPEN/CLOSE] を押す
ディスプレイの表示が少し暗くなります。
開けるには、もう一度[OPEN/CLOSE]を押す。

オートオフ機能を使う



リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぎます。
MD・CD・テープモードのとき、再生を停止したまま 4 分間操作をしないと、自動的に電源が切れます。

[] を押して、
MD・CD・テープ
モードを選ぶ

押すたびに
CD → MD
↑TAPE ↓

[AUTO OFF] を押す
解除するには、
もう一度[AUTO OFF] を押す

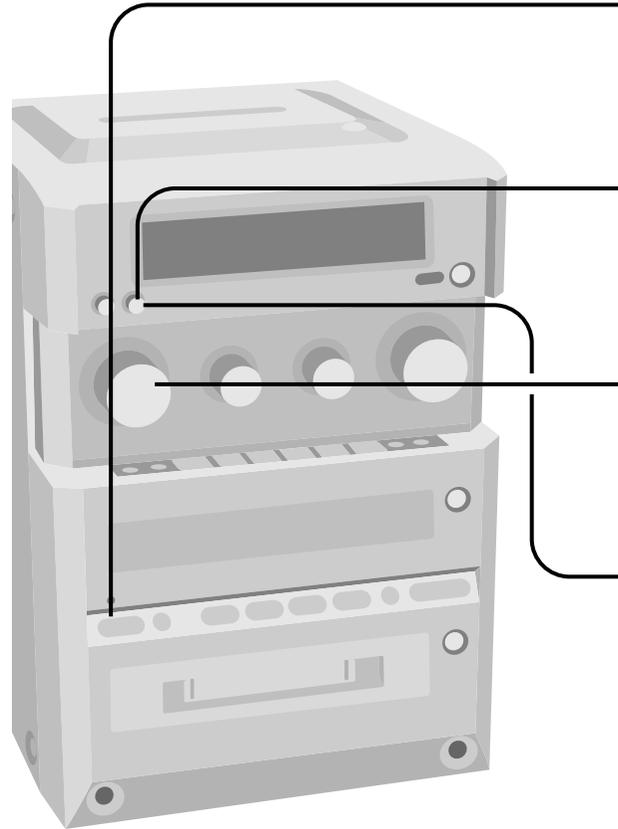


お知らせ

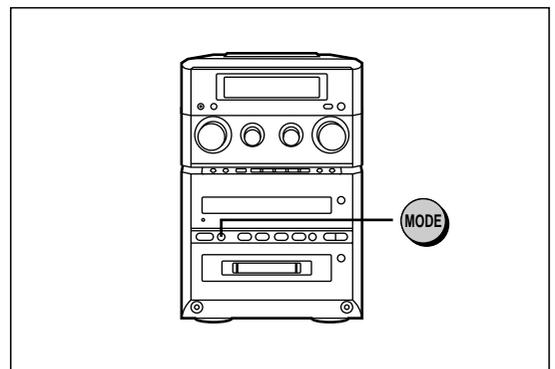
一度設定しておく、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
MD、CD、テープ以外のモードのとき、“AUTO OFF”表示が消えますが、MD・CD・テープモードにすると表示が戻ります。

時計を合わせる (24 時間表示)

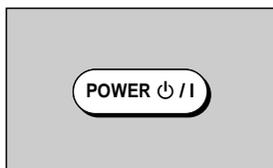
例：16 時 25 分(午後 4 時 25 分)に合わせる。



待機時の節電機能について

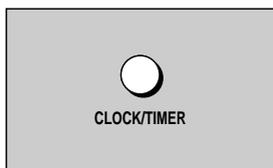


1



押す
電源が入ります。

2

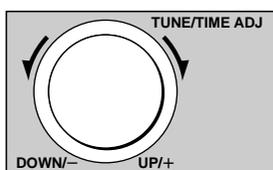


押して
“CLOCK--:--”を選ぶ

CLOCK--:--

押すたびに CLOCK → ◯PLAY → ◯REC
↑ 元の表示 ←

3



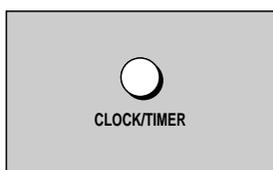
約 10 秒以内に、つまみを動かし
時計を合わせる

CLOCK 16:25

つまみを動かした状態で止めたままにすると時刻表示が連続して変化します。

元の表示に戻ったときは、手順 2 からやり直してください。

4



時報に合わせて
押す

CLOCK 16:25

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

時計を表示させるには



電源「切」時

ECOモードのときは、リモコンの [DISPLAY] をポンと押す。

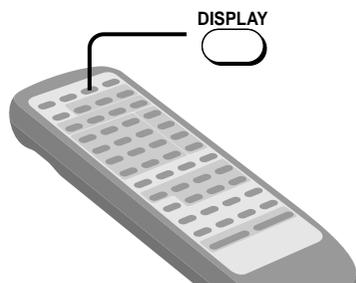
時計を約 5 秒間表示します。

NORMALモードのときは、常に時計表示になります。

電源「入」時

本体の [CLOCK/TIMER] を押す。

時計を約 10 秒間表示して、元の表示に戻ります。



ご使用前に

グライドパネルについて / オートオフ機能を使う
時計を合わせる / 待機時の節電機能について

電源「切」時の消費電力が小さくなり、節電になります。

お買い上げ時の設定は「ECO」です。

節電機能の切り換えかた

電源を入れ、[MODE] を押す

現在のモードを表示します。

モード表示中にもう一度押すと、NORMAL / ECO が切り換わります。

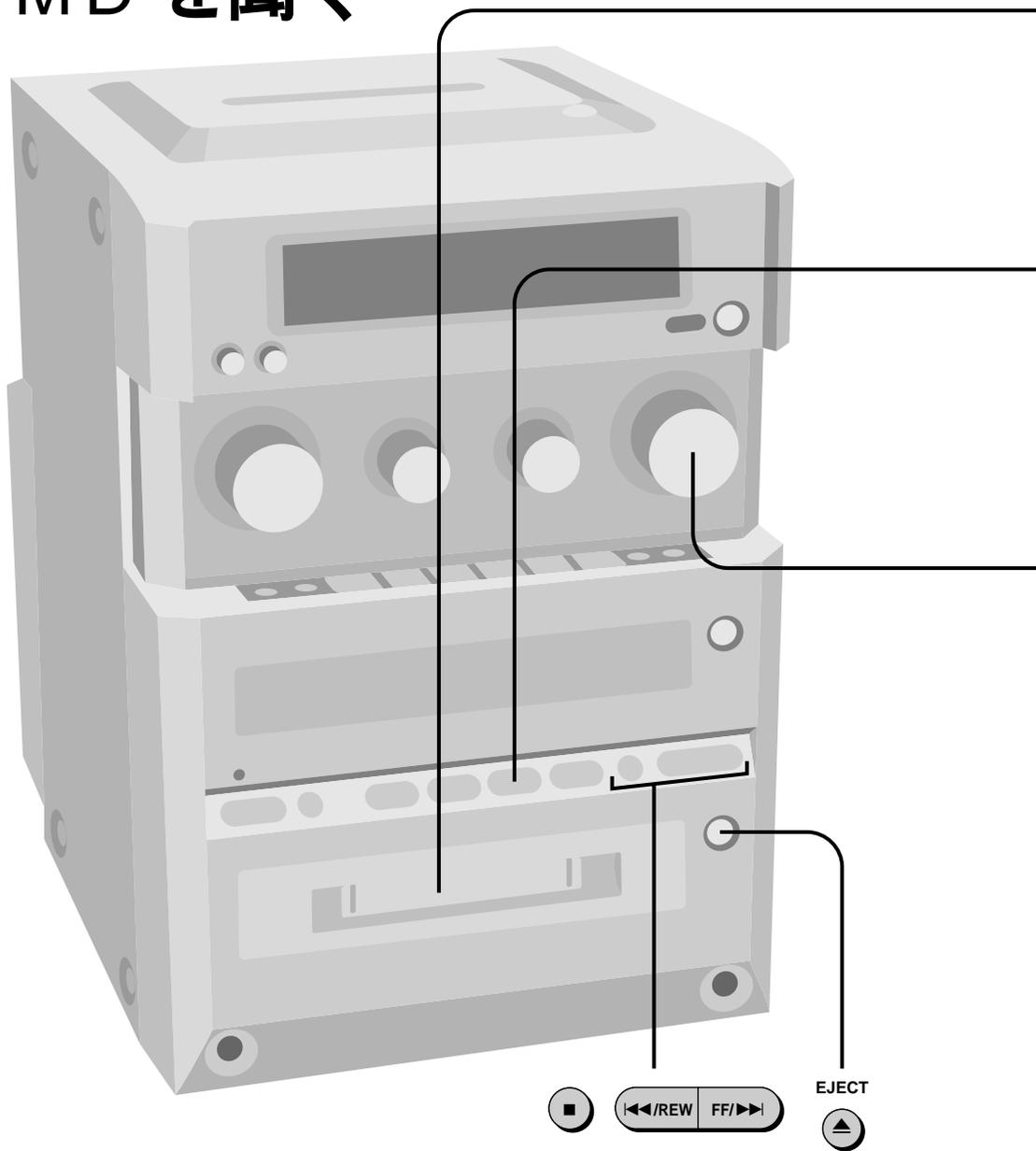
お知らせ

電源「切」時でも、NORMAL ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

モード	ECO	NORMAL
表示パネル	全消灯 (消灯ランプ、 タイマーランプ のみ点灯)	時計表示など
待機時の消費電力	約 0.35W	約 8.5W



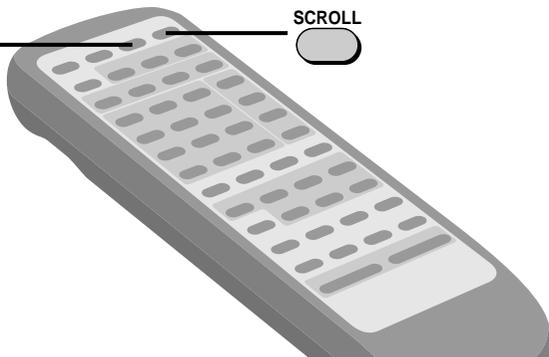
MD を聞く



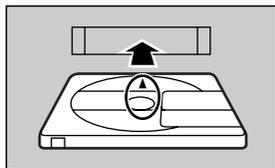
DISPLAY



SCROLL



1



録音済み MD を入れる

自動的に電源が入ります。
MD モードになっているときは、
曲数、総演奏時間、またはディス
クタイトルが表示されます。



[] を押すたびに
CD → MD
↑ TAPE ↓

2



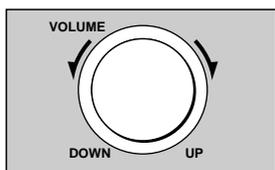
押す

1 曲目から最終曲まで、順に演奏
して、自動停止します。

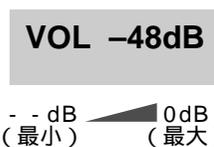


SP : 演奏中の曲が通常録音モードで
録音されている
LP : 演奏中の曲が長時間・モノラル
モードで録音されている

3



回して 音量を調節する



途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す

(再開するには、もう一度押す)

曲を前後にとび越すには
(スキップ)



ポンと押す

早送り・早戻しするには
(サーチ)



演奏(または一時停止)中に、
押し続ける

MD を取り出すには



EJECT



押す

(電源「切」時に押すと、電源が入る)

長いタイトルを見るには
(スクロール)(リモコン)



押す

タイトルが右から左にスクロールし
ます。

タイトルを表示させた
ままにするには(リモコン)



押す

元の表示に戻すには、もう一度押す。

“ >> ” と表示したら

使用中の MD に 16 曲以上
入っていることを示して
います。



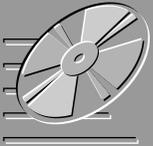
すでに MD が入っているときには、手順 2 から行
うと、自動的に電源が入り演奏が始まります。(ワ
ンタッチプレイ)



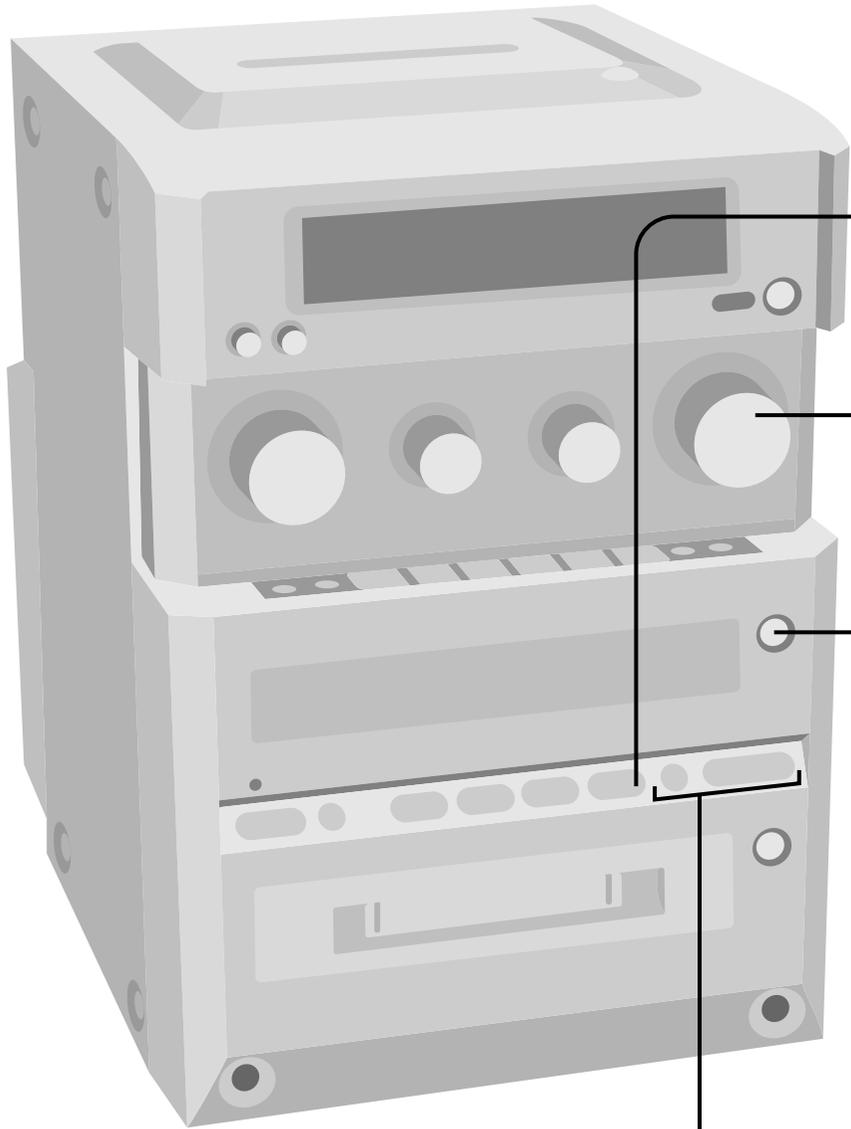
“ LOAD ERROR ” と表示したら

MD を入れる途中で不具合が発生したため、自動的
に電源が切れます。

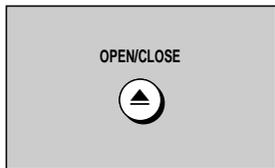
電源を入れ、MD をまっすぐ入れ直してください。



CD を聞く



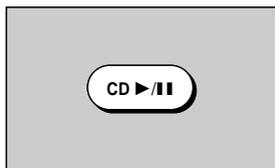
1



押してトレイを開け
CDを入れる
押すと自動的に電源が入ります。
閉めるには、もう一度押す。
CDモードになっているときは、
曲数、総演奏時間が表示されます。



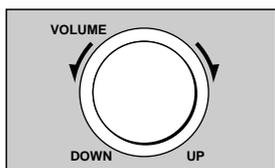
2



押す
1曲目から最終曲まで、順に演奏
して、自動停止します。



3



回して
音量を調節する



途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す

(再開するには、もう一度押す)

曲を前後にとび越すには
(スキップ)



ポンと押す

早送り・早戻しするには
(サーチ)



演奏(または一時停止)中に、
押し続ける

CDを取り出すには



OPEN/CLOSE



押す

(電源「切」時に押すと、電源が入る)

使いかた

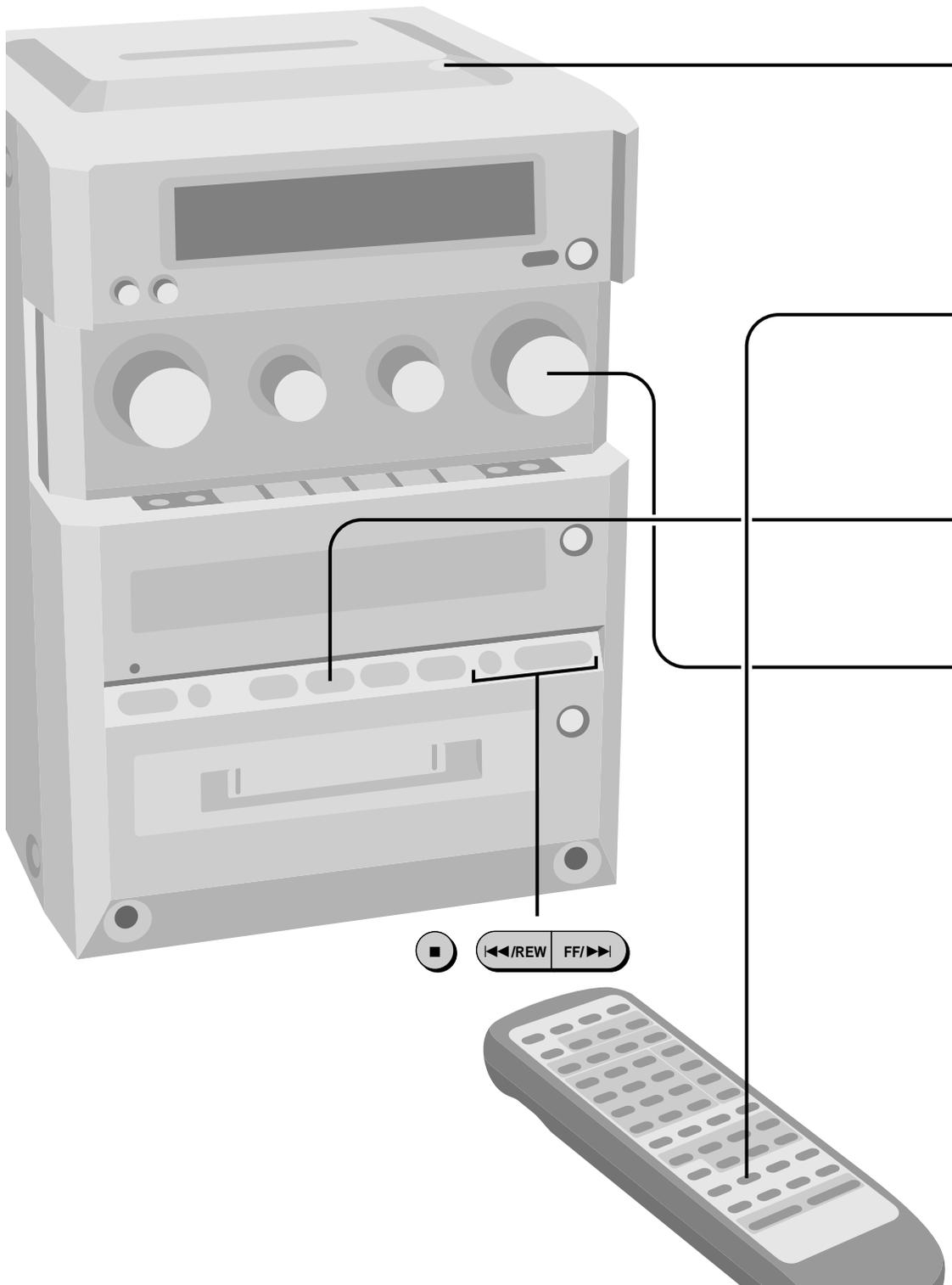
“▶”と表示したら
使用中のCDに16曲以上
入っていることを示してい
ます。



すでにCDが入っているときには、手順2から行
うと、自動的に電源が入り演奏が始まります。(ワン
タッチプレイ)



テープを聞く

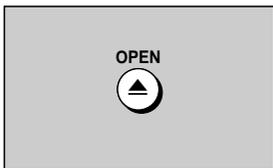


演奏できるテープは？

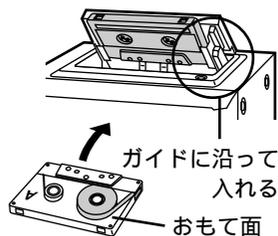
ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタルポジション METAL POSITION/TYPE	

テープの種類は自動的に判別されます。

1



押してホルダーを開け
テープを入れる
押すと自動的に電源が入ります。
手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的にもて面“FWD▶”になります。



2



押して
リバースモードを選ぶ
◀ : 片面だけ演奏して自動停止
▶◀ : おもて面 裏面を演奏して自動停止
◀▶ : [] (停止ボタン) を押すまで両面を繰り返し演奏



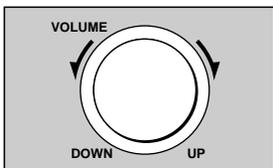
3



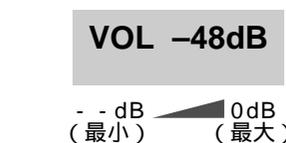
押す
演奏が始まります。
FWD▶ : おもて面から
◀REV : 裏面から



4



回して
音量を調節する



途中で止めるには

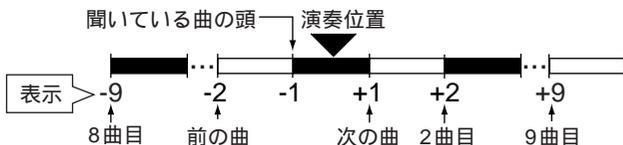


押す

曲を前後にとび越すには
(TPS機能)



演奏中に、ポンポンと押す
(次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能)



早送り・早戻しするには



停止中に、押す

テープを取り出すには



押す
(電源「切」時に押すと、電源が入る)

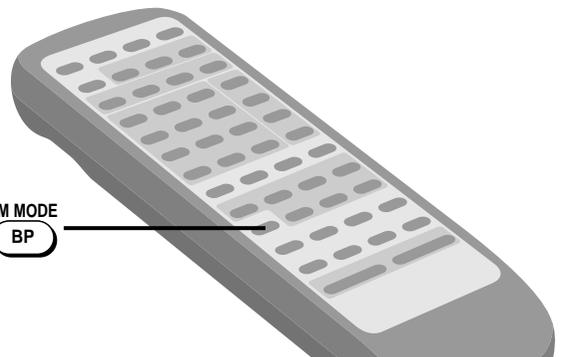
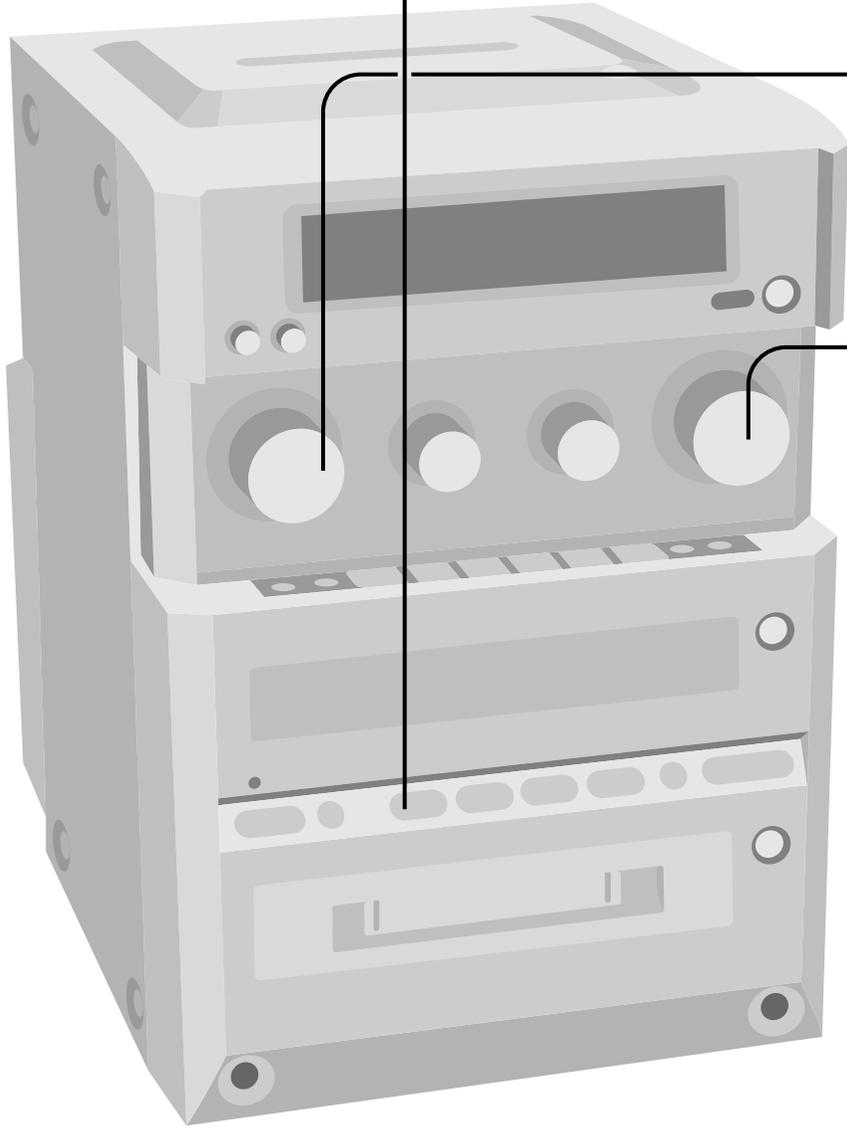
すでにテープが入っているときには、手順3から行くと、自動的に電源が入り、前に選んでいた走行方向で演奏が始まります。(ワンタッチプレイ)

お知らせ

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して動くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
曲間が短い / 曲間に雑音がある / 曲中に無音に近い部分がある

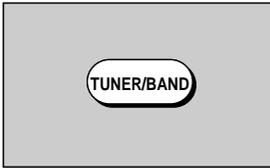


ラジオを聞く



FM MODE
BP

1

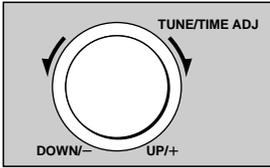


押して
“ FM ” または “ AM ”
を選ぶ

(TV 音声受信時は “ FM ”)
自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
(ワンタッチプレイ)

FM 76.0 MHz
|
押すたびに FM ⇄ AM

2



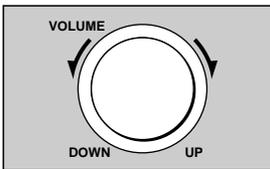
回したまま止め
周波数を合わせる

周波数が動き出したら、手を放す。
放送局を受信すると、周波数が止まります。(オートチューニング)
合わせたい周波数に近づいたら、少しずつ回して調節することもできます。

STEREO : FM ステレオ
放送を受信すると点灯
TUNED : 正確に受信すると点灯

TUNED STEREO
FM 82.5 MHz

3



回して
音量を調節する

VOL -48dB

- - dB (最小) 0dB (最大)

FM ステレオ放送で
雑音が多いときは
(リモコン)



押す
“ MONO ” と表示します。
押すたびに
MONO (強制モノラル) ⇄ 消灯 (自動判別)

TUNED MONO
FM 82.5MHz

通常は “ 消灯 ” にしておきます。

使いかた

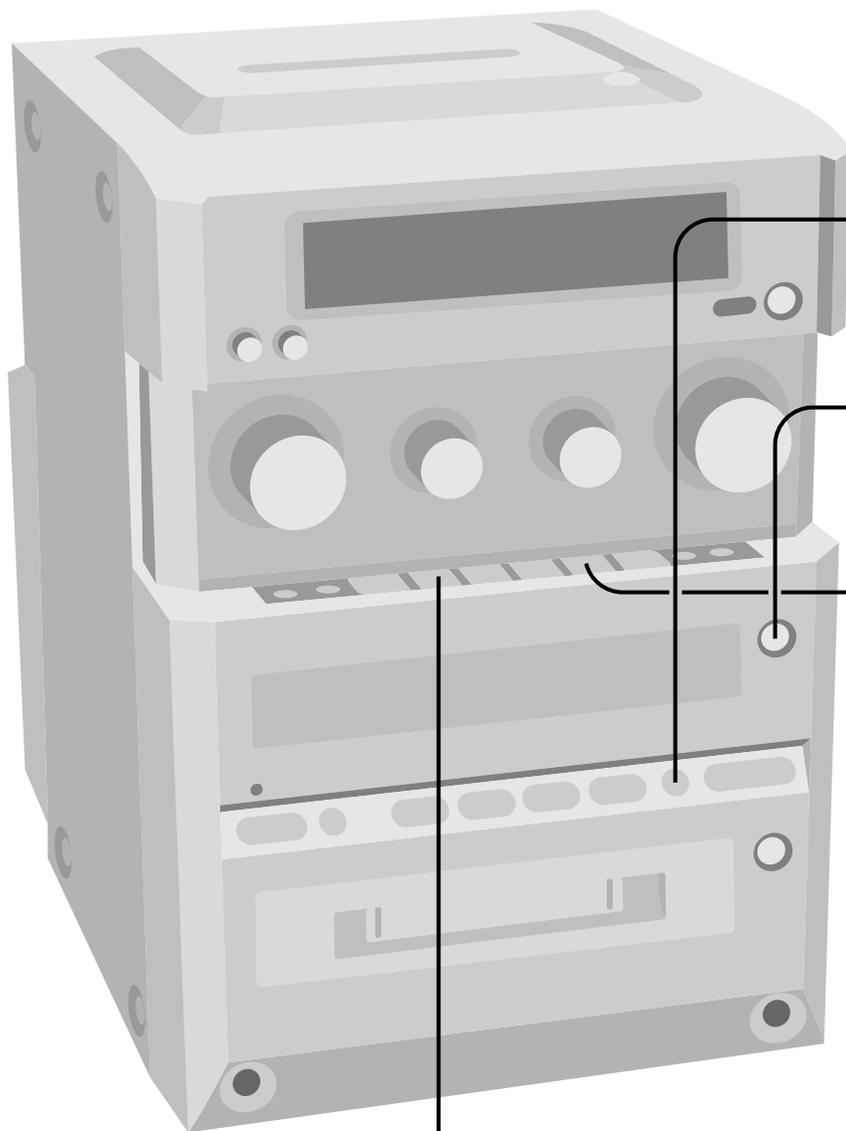
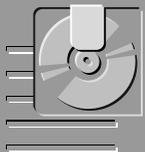
お知らせ

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。(⇨ 50 ページ)
オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が止まることがあります。
AM 放送受信中にテープを出し入れすると、音が少し途切れます。
本機の TV 受信回路については、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM 放送が混信することがあります。



CD を MD に録音する

CD のデジタル信号をそのままデジタルで録音できます。



-SP/LP
MD REC MODE

DISPLAY

TRACK MARK

はじめて MD を使用する場合は、54 ページ「MD について」をお読みください。

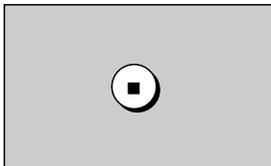
準備：① 録音用 MD を入れる。

② MD モード以外で、[MD REC MODE、 - SP/LP] を長押しして、録音モードを選ぶ。

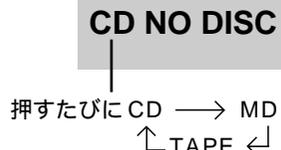
SP MODE：通常録音モード

LP MODE：長時間・モノラル録音モード（74 分ディスクで 148 分録音可能）

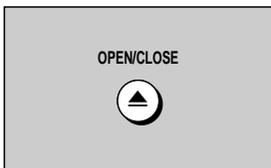
1



押して
CD を選ぶ



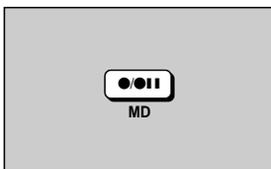
2



押してトレイを開け
CD を入れる
閉めるには、もう一度押す。



3



押す
1 曲目から録音が始まります。
(CD の演奏が終わると、MD も自動停止)



途中で止めるには



押す



一時停止するには



押す（“REC” が点滅）
トラックマークがつかます。
（再開するには、もう一度押す）

録音中にトラックマー
クを付けるには(リモコン)



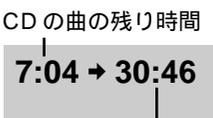
押す



MD の残り時間を
知るには(リモコン)



残り時間を表示するまで
ポンポンと押す

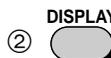


停止中



押して
MD を選ぶ

MD の残り時間



残り時間を表示するまで
ポンポンと押す



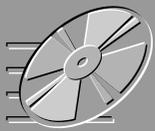
MD の残り時間

CD の好みの数曲を録音するには

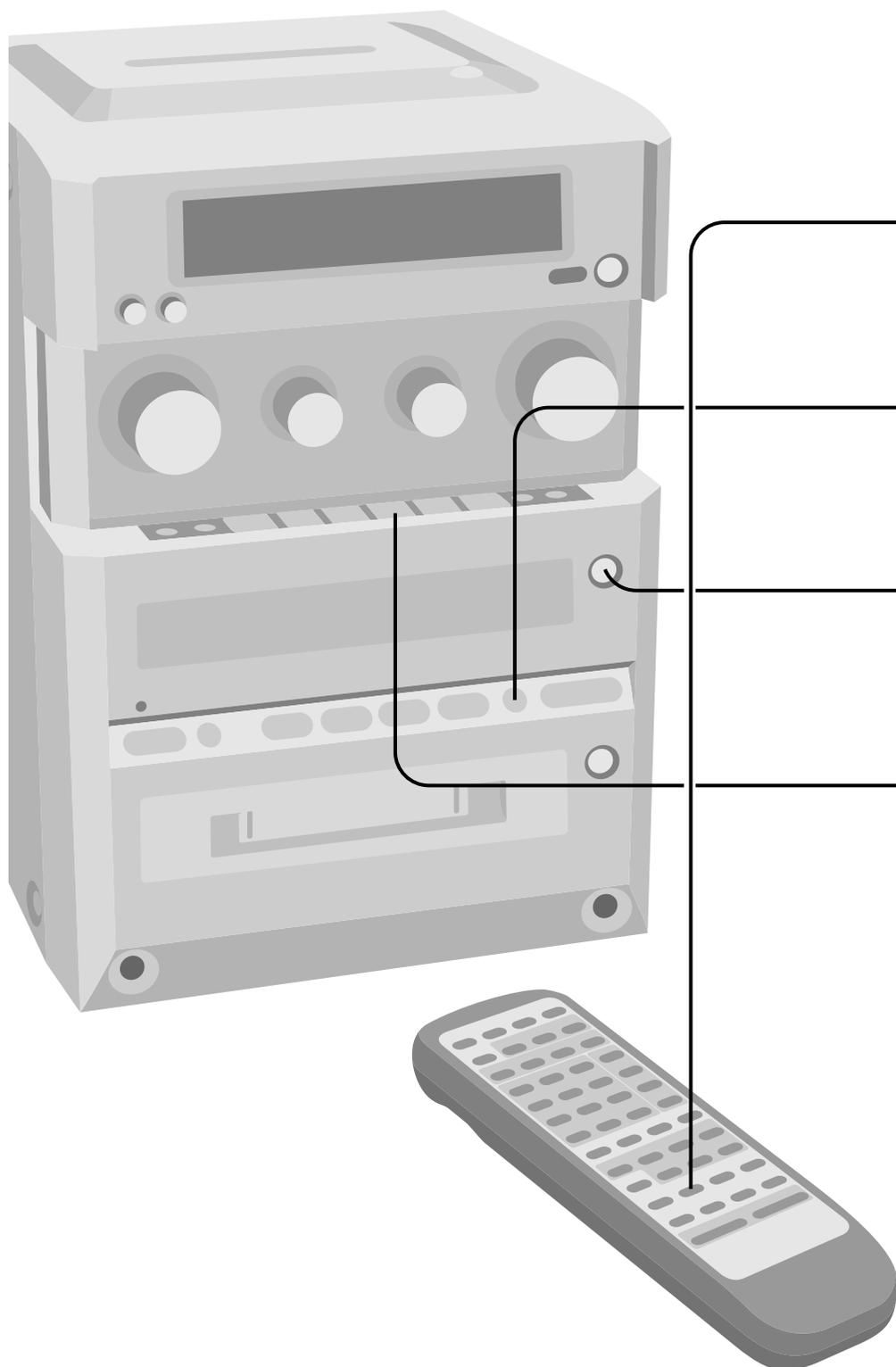
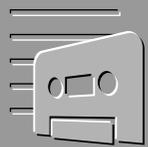
- ① CD の曲をプログラムする。(☞ 26 ページ)
- ② [/ ■■、MD] を押して、録音を始める。

録音時の音量・音質について

録音レベルは自動的に設定されます。
音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音される MD・テープには影響しません。



CD をテープに録音する



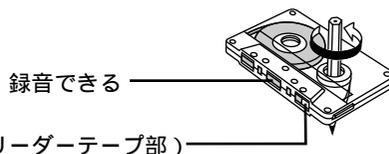
録音できるテープは？

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE	
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE	
メタルポジション METAL POSITION/TYPE	×

テープの種類は自動的に判別されます。
メタルポジション・テープを使うことはできませんが、本機では正しく録音・消去できません。

準備：リーダーテープ部を巻きとり、録音用テープを入れる。

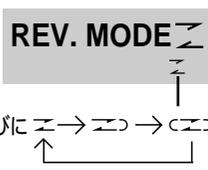
自動的におもて面“FWD▶”から録音されます。



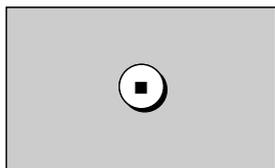
1



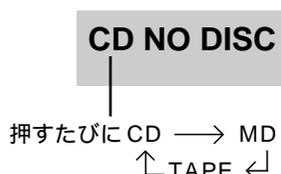
押して
リバースモードを選ぶ
◀ : 片面だけ録音して自動停止
▶◀、◀▶ : おもて面 裏面を録音して自動停止



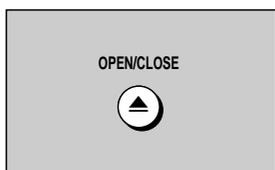
2



押して
CDを選ぶ



3



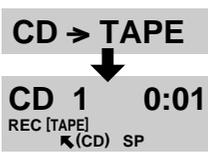
押してトレイを開け
CDを入れる
閉めるには、もう一度押す。



4



押す
1曲目から録音が始まります。
1で◀▶を選んでいたら、▶◀に変わります。
(CDの演奏が終わると、テープも自動停止)



途中で止めるには



押す

一時停止するには



押す(“REC”が点滅)
CDは演奏を続け、テープは録音待機状態になります。
(再開するには、もう一度押す)

テープの裏面に録音するには
テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向を切り換え、録音します。

- ① [TAPE◀▶] を2度押す。
- ② すぐに[]を押す。
テープの走行方向が“◀REV”になります。
- ③ 上の録音操作を行う。

CDの好みの数曲を録音するには

- ① CDの曲をプログラムする。(→ 26ページ)
- ② [/ ||、TAPE] を押して、録音を始める。

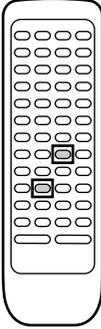
録音時の音量・音質について
録音レベルは自動的に設定されます。
音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音されるMD・テープには影響しません。

使いかた

MD/CD の聞きかた

**演奏を
くり返す**
リモコンのみ
(リピートプレイ)

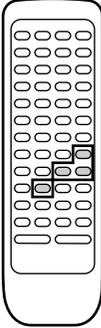
次の 2 種類があります。
1 曲リピート
全曲リピート



押して
MD または CD を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑ TAPE ↓

**順不同に
聞く**
リモコンのみ
(ランダムプレイ)

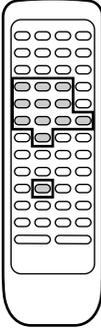
各曲を 1 回ずつ
順不同に演奏し
ます。



押して
MD または CD を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑ TAPE ↓

**好みの曲
から聞く**
リモコンのみ
(ダイレクトプレイ)

選んだ曲から最
終曲まで順に演
奏します。



押して
MD または CD を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑ TAPE ↓

リピートプレイのとき

解除するには
[REPEAT] を押して、“ 1 - ” または “ ” を消す。
数曲をくり返すには
① 好みの曲をプログラム予約する。
(→ 26 ページ)
② 演奏前または演奏中に、[REPEAT] を押して
“ ALL REPEAT (”) ” を選ぶ。

ランダムプレイのとき

解除するには
停止中に [RANDOM] を押す。
お知らせ
ランダムプレイ中は、[◀◀、REW] (または本体の
[◀◀/REW]) を押しても、前の曲に戻りません。
ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中
でだけ早送り・早戻しします。
ランダムプレイ中は MD 編集できません。
ランダムプレイとプログラムプレイを組み合わせ
て使うことはできません。

演奏をくり返す（リピートプレイ）
 順不同に聞く（ランダムプレイ）
 好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

→ **REPEAT**

演奏前または演奏中に
押す

1- : 演奏前または演奏中の 1 曲だけをくり返す（1 曲リピート）
 : 全曲をくり返す（全曲リピート）

TRACK REPEAT 1- 押すたびに TRACK REPEAT (1-) → ALL REPEAT ()
 ↑ 元の表示 ←

→ **RANDOM**

停止中に
押す

RANDOM
RANDOM

→ **MD** または **CD**

押す
演奏が始まります。

→

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
ク GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PQRS 7	ヤ TUV 8	ワ XYZ 9
0	DELETE ≥10	

押して
曲番を選ぶ
演奏が始まります。

MD 3

↓

MD 3 0:01

ダイレクトプレイのとき

数字ボタンで 10 以上を選ぶには
 [≥10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
 例：曲番 23 のとき [≥10] [2] [3]

数字ボタンで 100 以上を選ぶには（MD のみ）
 [≥10] を 2 回押してから、数字ボタンを押す。
 例：曲番 235 のとき
 [≥10] [≥10] [2] [3] [5]

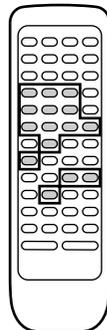
MD/CD の聞きかた

好みの曲 を予約順 に聞く

リモコンのみ

(プログラムプレイ)

最大 24 曲まで
予約できます。



押して
MD または CD を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑ TAPE ↓

プログラムプレイのとき

解除するには

“ MD PGM ” または “ CD PGM ” 表示中に
[PROGRAM] を押す。

(予約内容は保持されます。)

予約内容を確認するには

“ MD PGM ” または “ CD PGM ” 表示中に
[◀◀、REW] または [▶▶、FF] を押す。

押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

本体の [◀◀/REW] または [FF/▶▶] でも確認で
きます。

“ MD PGM ” または “ CD PGM ” を表示するには
[▶/■、MD] または [▶/■、CD] を押し、
[] を押す。

PGM

MD PGM 12:10

数字ボタンで 10 以上を選ぶには

[≥10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。

数字ボタンで 100 以上を選ぶには

(MD のみ)

[≥10] を 2 回押してから、数字ボタンを押す。

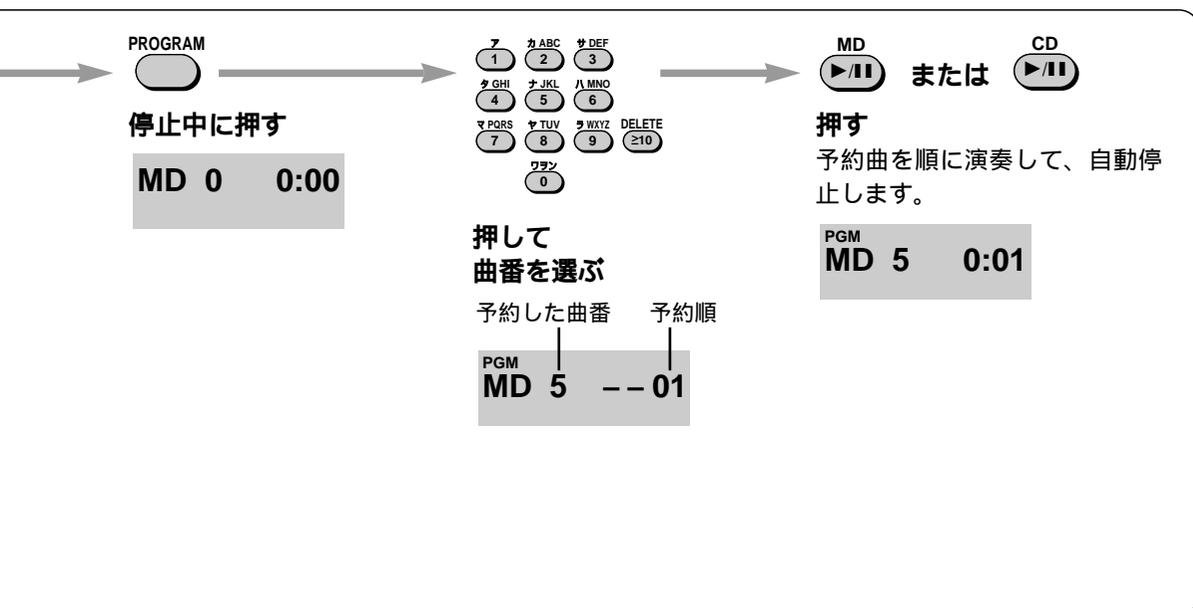
予約を追加するには

停止中に数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約を取り消すには

停止中に [CLEAR] を押す。

“ PGM CLEAR ” が表示され、全曲の予約が取り消さ
れます。



“ PGM FULL ” と表示したら
予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。
これ以上の予約はできません。

“ - - : - - ” と表示したら
予約時間が 250 分に達したことを示しています。
続けて予約をすることができます。

お知らせ

プログラムプレイ中は予約順にスキップします。
(CDのみ)
プログラムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲
中でだけ早送り・早戻しします。
プログラムプレイ中はMD編集できません。
プログラムプレイとランダムプレイを組み合わせ
て使うことはできません。

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
FM、AMとも、15局ずつ記憶させられます。

記憶させる

お住まいの地域を指定する

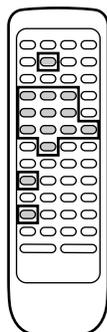
(エリアバンク)

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AM放送局を一度で記憶できます。

好みの局だけ記憶させる

(マニュアルメモリー)

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させたりして使います。

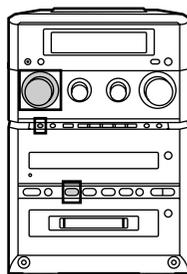


TUNER
BAND

押す

FM 76.0MHz

FM、AMのどちらを選んでも、一度の操作で両方とも設定されます。



TUNER/BAND

押して“FM”または“AM”を選ぶ
(TV音声受信時は“FM”)

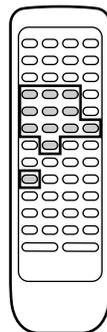
FM 76.1MHz

押すたびにFM ⇄ AM

聞く

記憶させた放送局を聞く

(プリセットチューニング)



TUNER
BAND

押して
“FM”または“AM”を選ぶ

1) FM 76.1MHz

押すたびにFM ⇄ AM

プリセットチューニングのとき

数字ボタンで10以上を選ぶには
[≥10]を1回押してから、数字ボタンを押す。
例：チャンネル12のとき [≥10] [1] [2]

本体でもできます

- ① [TUNER/BAND] を押して、“FM”または“AM”を選ぶ。
- ② [◀◀/REW] または [FF/▶▶] を押して、チャンネルを選ぶ。

AREA → 押す

PGM 11 トウキョウケン

1 2 3
 4 5 6
 7 8 9 ≥10
 プラン 0

押して、エリア番号(下記参照)を選ぶ

PGM 24 オオサカケン (例：大阪圏)

ENTER 押す

1) FM 76.5MHz

エリアに記憶されている最初の周波数とチャンネルを表示したあと、放送局名の表示になります。

続けて記憶させるとき

TUNE/TIME ADJ 回して周波数を合わせる

FM 80.2MHz

MEMORY/ENTER 押す

PGM PROGRAM ch 5

“PGM”点滅中に、押してチャンネルを選ぶ

PROGRAM ch 5 | チャンネル

(リモコン)

1 2 3
 4 5 6
 7 8 9 ≥10
 プラン 0

押してチャンネルを選ぶ

2) FM 80.2MHz | チャンネル

エリアバンクで記憶されている放送局のときは、自動的に放送局名表示になります。

1 2 3
 4 5 6
 7 8 9 ≥10
 プラン 0

エリアバンク (1999年7月現在)

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏	21	大津	31	松山
2	青森	(東京、横浜、千葉、浦和)		22	奈良	32	高知
3	秋田	12	甲府	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	13	松本	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	14	静岡	(大阪、神戸、京都)		35	佐賀
6	仙台	15	名古屋圏	25	鳥取	36	長崎
7	福島	(名古屋、岐阜)		26	松江	37	大分
8	宇都宮	16	津	27	広島	38	熊本
9	水戸	17	新潟	28	山口	39	宮崎
10	前橋	18	富山	29	高松・岡山	40	鹿児島
		19	金沢	30	徳島	41	那覇
		20	福井				

いろいろな録音

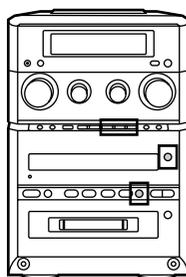
CDの全曲を自動で録音する

(AUTO REC モード)

MDまたはテープに録音できます。

準備：
MDのとき
① 録音用MDを入れる。
② MDモード以外で[MD REC MODE、- SP/LP]を長押しし、SPモード/LPモードを選ぶ。

テープのとき
録音用テープを入れる。



押して
CDを選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑TAPE ↓

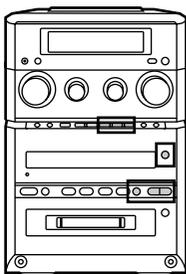
CDの好みの1曲を録音する

(1-RECモード)

MDまたはテープに録音できます。

準備：
MDのとき
① 録音用MDを入れる。
② MDモード以外で[MD REC MODE、- SP/LP]を長押しし、SPモード/LPモードを選ぶ。

テープのとき
① 録音用テープを入れる。
② リモコンの [REV MODE] を押し、リバースモードを選ぶ。



押して
CDを選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑TAPE ↓

録音を途中で止めるには

[] を押す。

MD録音のときは“UTOC Writing”の点滅の後、録音が完了します。

MDの残り時間を確認するには

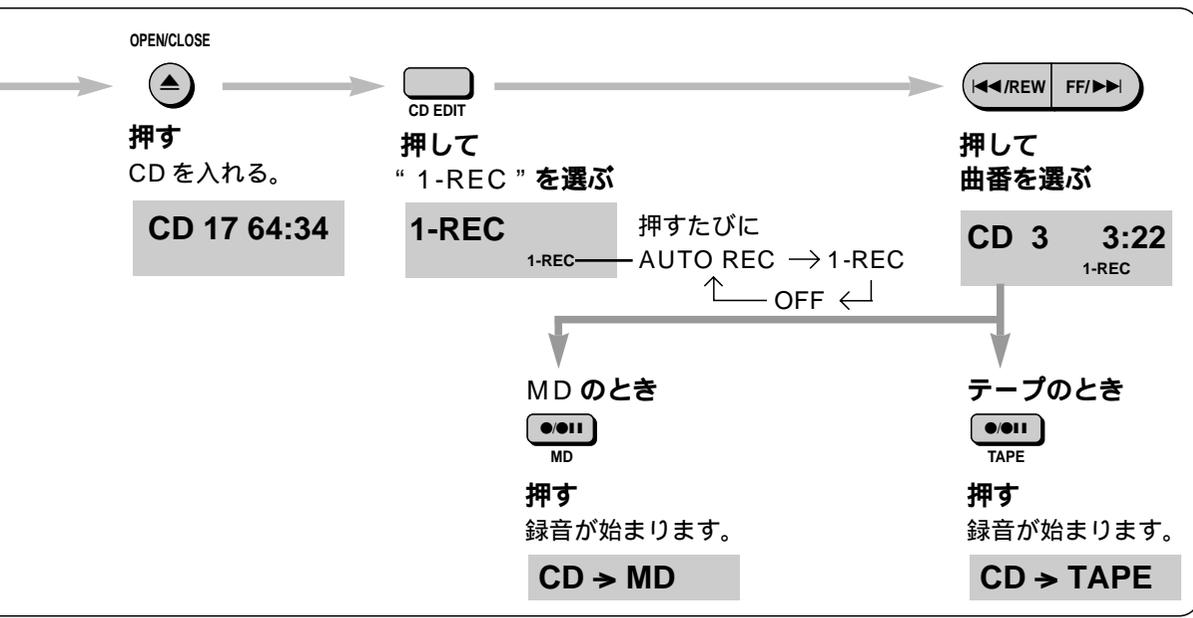
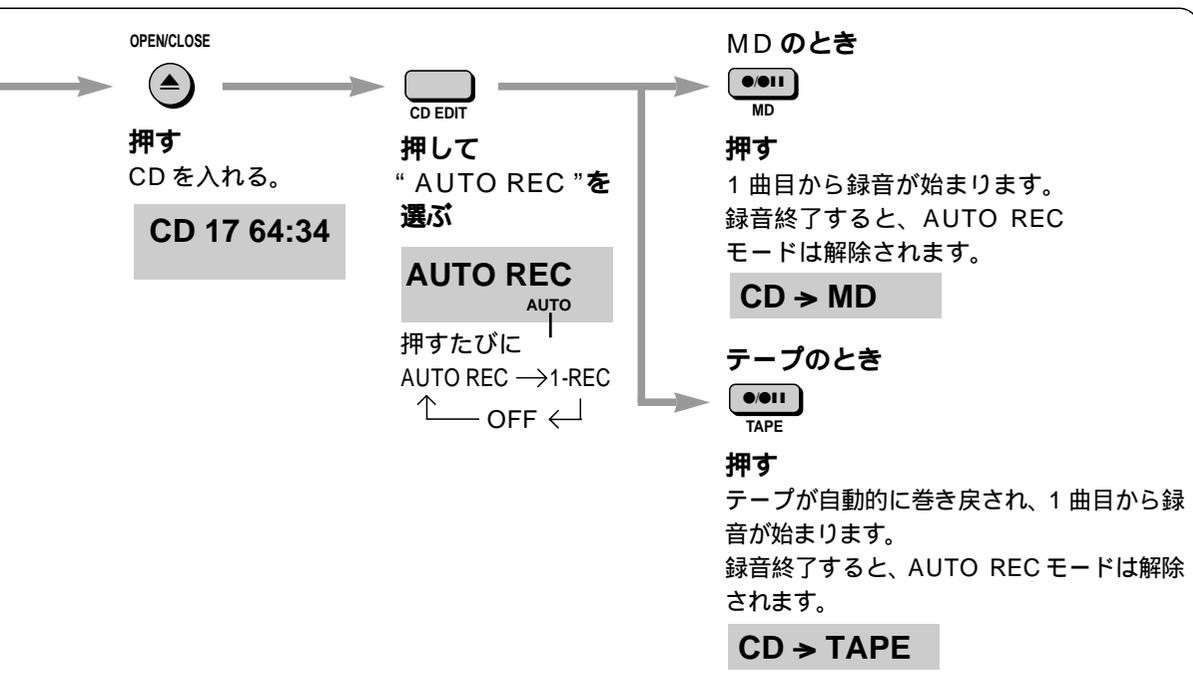
リモコンの [DISPLAY] をポンポンと押して、残り時間表示にする。

CDの好みの数曲を録音するには

- ① CDの曲をプログラムする。(⇨26ページ)
- ② [CD EDIT] を押して、“AUTO REC”を選ぶ。
- ③ [/ ■■, MD] または [/ ■■, TAPE] を押して録音を始める。

お知らせ

上記の方法でMDとテープの同時録音はできません。
([、MD&TAPE] を押すとAUTO RECモード、1-RECモードが解除され、MD・テープへの通常の同時録音が始まります。⇨32ページ)
AUTO RECモードのときは、ランダムプレイ、リピートプレイはできません。



全曲を録音するとき

MDに録音

トラックマークを手動でつけることはできません。
最後まで入りきらない曲は録音されません。

テープに録音

必ずテープのおもて面から録音が始まります。
おもて面の最後で曲が途切れたときは、裏面にその曲をはじめから録音します。

好みの1曲を録音するとき

テープに録音

おもて面の最後で曲が途切れたときは、裏面にその曲をはじめから録音します。

録音中のMDにトラックマークを付けるには
(1-RECモードのみ)

リモコンの[TRACK MARK]を押す。

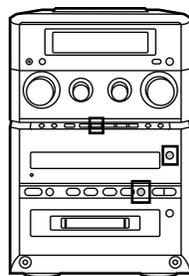
1-RECモードを解除するには
[CD EDIT]を押して、“OFF”を選ぶ。

いろいろな録音

CDをMD・テープに同時録音する

準備：

- ① 録音用 MD を入れる。MD モード以外で、[MD REC MODE、- SP/LP] を長押しし、SP モード / LP モードを選ぶ。
- ② 録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。
自動的におもて面 “FWD▶” から録音されます。(裏面に録音するときは☞ 23 ページ)



押して
CD を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑TAPE ↓

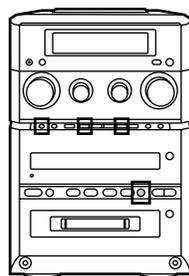
CD NO DISC

テープをMDに録音する

テープのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

準備：

- ① 録音用 MD を入れる。
- ② テープを入れる。
テープ走行方向は、自動的におもて面 “FWD▶” になります。
裏面 “◀REV” にするには、[TAPE◀▶] を二度押ししてその後すぐに [] を押します。
- ③ MD モード以外で、[MD REC MODE、- SP/LP] を長押しし、録音モードを選ぶ。



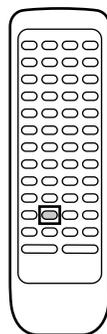
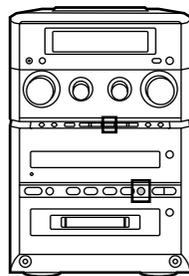
押して
TAPE を選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑TAPE ↓

TAPE

MDをテープに録音する

準備：

- ① 録音用テープを入れる。
自動的におもて面 “FWD▶” から録音されます。(裏面に録音するときは☞ 23 ページ)
- ② MD を入れる。



CDをMD・テープに同時録音するとき/テープをMDに録音するとき

途中で止めるには
[] を押す。
“UTOE Writing” の点滅の後、録音が完了します。
録音中の MD にトラックマークを付けるには
リモコンの [TRACK MARK] を押す。

MD の残り時間を知るには
リモコンの [DISPLAY] をポンポンと押して、残り時間を表示させる。
一時停止するには (テープ MD 録音のみ)
[/ |||、MD] を押す。
トラックマークが付きます。
(再開するには、もう1度押す。)

OPEN/CLOSE



押して
CDを入れる
閉めるには、同じボタンをもう一度押す。

CD 17 64:34

MD & TAPE



押す
録音が始まります。

CD → MD&TAPE

お知らせ
テープのおもて面 裏面に切り換わるとき、録音が少し途切れます。MD・テープどちらかの残り時間がなくなっても、もう一方は録音を続けます。

-SP/LP



MD REC MODE

押して
録音モードを選ぶ
(⇨ 35 ページ)
MANUAL : 通常の録音
TIME MARK : 5分ごとに自動でトラックマークがつく。

TIME MARK



押すたびに
MANUAL TIME MARK

MEMORY/ENTER



押す

TIME MARK
TIME MARK
(例 : TIME MARK)

MD



押す
録音が始まります。

TAPE → MD

REV MODE (リモコン)



押して
MDを選ぶ
押すたびに
CD → MD
↑TAPE ←

MD 3 13:40

押して
リバースモードを選ぶ

REV. MODE



押すたびに
エ → エ → エ → エ
↑
“エ”は、録音を始めると、自動的に“エ”に切り換わります。

エ : 片面だけ録音して自動停止
エ、エ : おもて面 裏面に録音して自動停止

TAPE



押す
録音が始まります。

MD → TAPE

MDをテープに録音するとき

- 途中で止めるには
[]を押す。
一時停止するには
[/ ■■、TAPE]を押す。
(再開するには、もう一度押す。)

- 曲を選んで録音するには
① 好みの曲をプログラム予約する。(⇨ 26 ページ)
② [/ ■■、TAPE]を押す。
選んだ曲だけ録音して自動停止します。

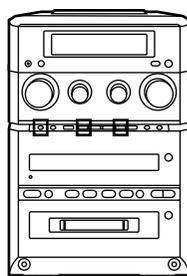
いろいろな録音

ラジオを MDに 録音する

ラジオのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

準備:

- ① 録音用 MD を入れる。
- ② 録音したい放送を受信する。
- ③ [MD REC MODE、- SP/LP] を長押しし、SPモード / LPモードを選ぶ。

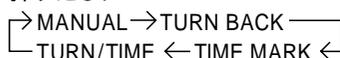


-SP/LP
MD REC MODE

押して 録音モードを選ぶ

- マニュアル
MANUAL : 通常の録音
- ターンバック
TURN BACK : 頭切れを防ぐため数秒前の音から録音
- タイムマーク
TIME MARK : 5分ごとに自動でトラックマークが付く
- ターンタイム
TURN/TIME : TURN BACKとTIME MARKの組み合わせ

押すたびに

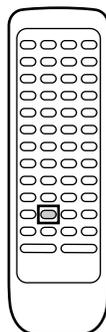


TURN BACK
TURN BACK

ラジオを テープに 録音する

準備:

- ① 録音用テープを入れる。
自動的におもて“FWD▶”から録音されます。
(裏面に録音するときには⇨23ページ)
- ② 録音したい放送を受信する。

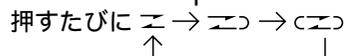


REV MODE (リモコン)

押して リバースモードを選ぶ

- ⇨ : 片面だけ録音して自動停止
- ⇨⇨、⇨⇩ : おもて面 裏面を録音して自動停止

REV. MODE ⇨⇨



“⇨⇩”は、録音を始めると、自動的に“⇨⇨”に切り換わります。

ラジオを MD に録音するとき

途中で止めるには

[] を押す。

“UTOC Writing” の点滅後、録音が完了します。

一時停止するには

[/ ■■, MD] を押す。(再開するには、もう一度押す)

トラックマークを付けるには

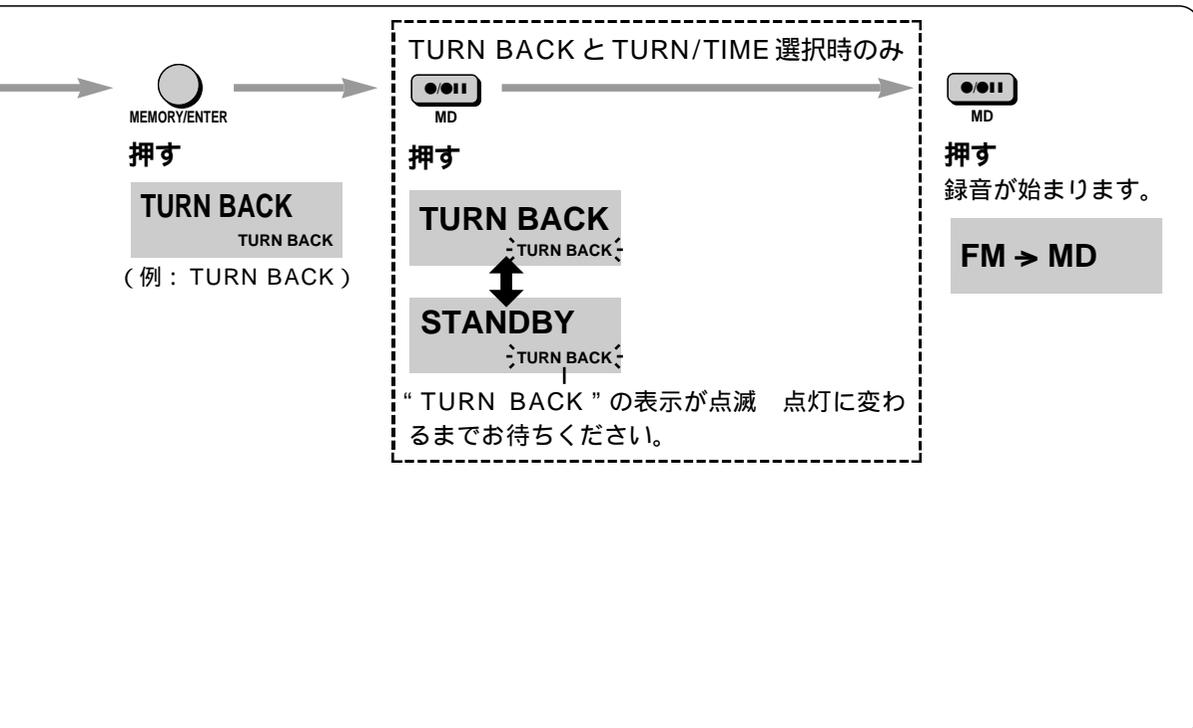
リモコンの [TRACK MARK] を押す。

MD の残り時間を知るには

リモコンの [DISPLAY] をポンポンと押して、残り時間表示にする。

お知らせ

エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局名が曲の名前(トラックタイトル)として記憶されます。(⇨40ページ)



MD への録音モードについて

本機には、長時間録音モードのほかに、次の 5 種類の録音モードがあります。目的や好みに応じて使い分けてください。
(選択できるモードは、ソースによって異なります。)

マニュアル
MANUAL : 通常の録音モードです。

シンクロ
SYNCHRO : 本機につないだ機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が 3 秒以上続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

ターンバック
TURN BACK : 頭切れを防ぐために、数秒前の音から録音するモードです。ラジオや CS/BS 放送を録音するとき使います。

タイムマーク
TIME MARK : 5 分毎に、トラックマークが自動的に付くモードです。ラジオやテープから録音するとき使います。

ターンタイム
TURN/TIME : TURN BACK と TIME MARK の組み合わせモードです。ラジオなどから録音するとき使います。

ラジオをテープに録音するとき

途中で止めるには
[] を押す。
一時停止するには
[/ ■■、TAPE] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

AM 放送録音中に雑音が多いときは
(BP : ビートブルーフ)
録音中に、[FM MODE、BP] を押す。
押すたびに“BP 1” へ“BP 2”
雑音の少ないほうにします。

使いかた

ラジオを MD に録音する
ラジオをテープに録音する

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作成することができます。(録音用 MD のみ)

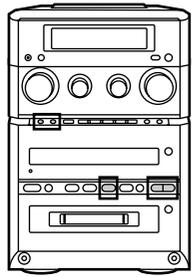
曲を移動する (ムーブ)

準備：
[] を押して MD を選ぶ。

曲番
1 2 3
A曲 B曲 C曲

移動する

曲番
1 2 3
B曲 C曲 A曲



MD ▶/II

↓

◀◀/REW FF/▶▶

押して
移動する曲の演奏を始める

MD 1 0:01

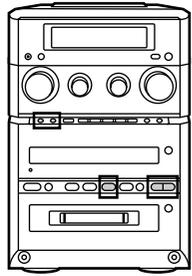
2 曲を 1 つに まとめる (コンバイン)

準備：
[] を押して MD を選ぶ。

曲番
1 2 3
A曲 B曲 C曲

まとめる

曲番
1 2
A曲 B+C曲



MD ▶/II

↓

◀◀/REW FF/▶▶

押して
まとめる 2 曲の後ろの曲の
演奏を始める

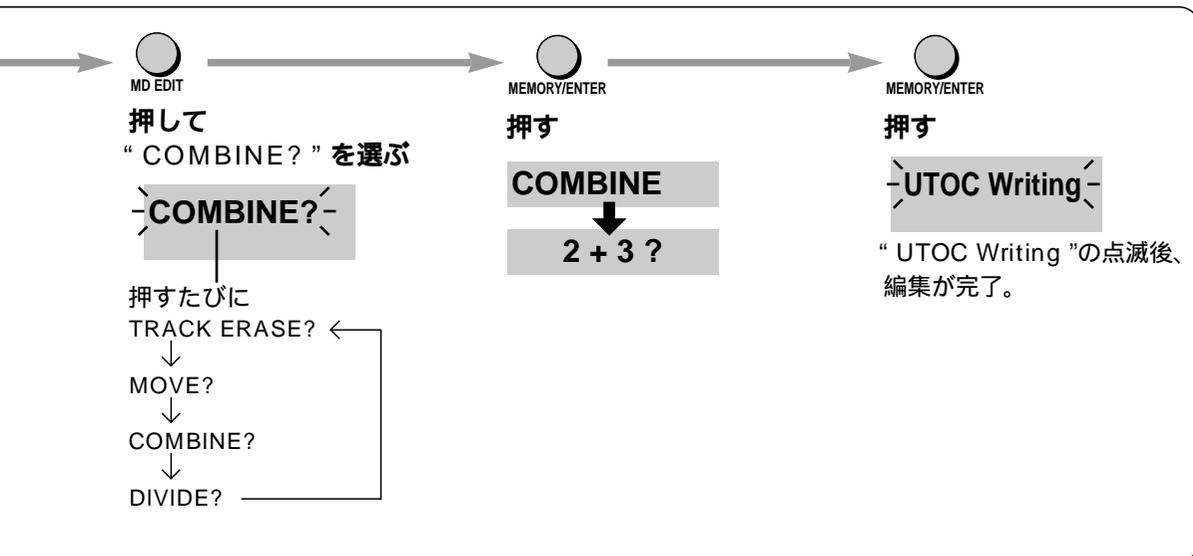
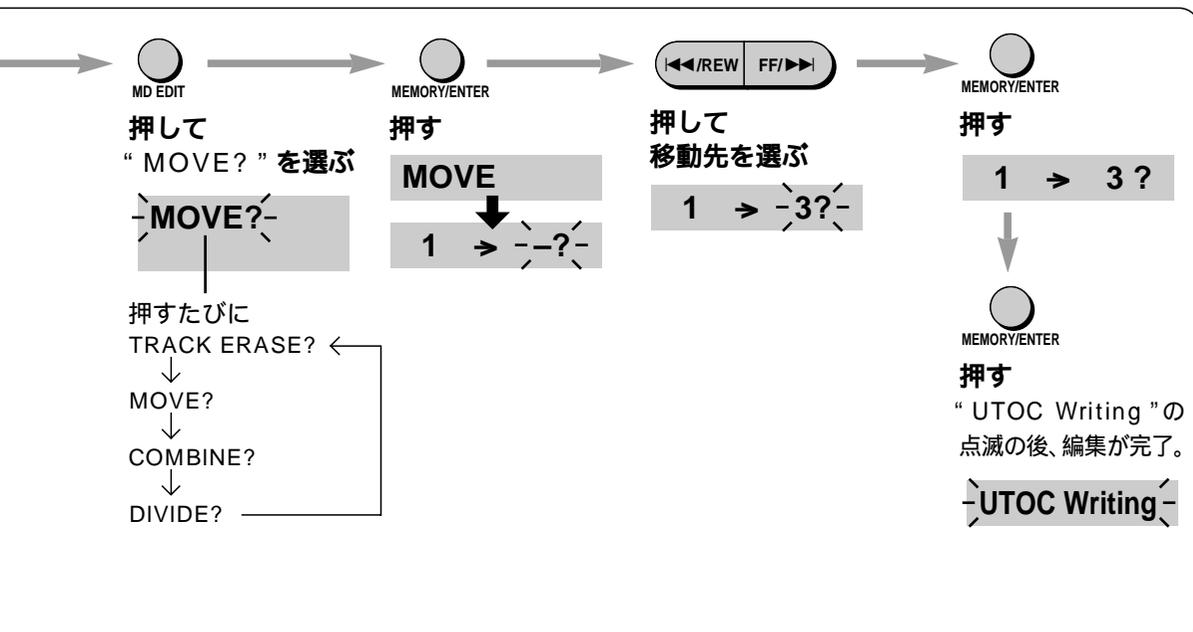
MD 3 0:01

ムーブのとき

途中で解除するには
[] または [CANCEL] を押す。

停止中でもできます

- ① [◀◀/REW] [FF/▶▶] で移動する曲を選ぶ。
- ② [MD EDIT] を押して “ MOVE? ” を選ぶ。
- ③ [MEMORY/ENTER] を押す。
- ④ [◀◀/REW] [FF/▶▶] で移動先を選ぶ。
- ⑤ [MEMORY/ENTER] を押す。
- ⑥ [MEMORY/ENTER] を押す。



コンバインのとき

途中で解除するには

[] または [CANCEL] を押す。

編集前の状態に戻すには

ディバイド機能 (☞ 38 ページ) をお使いください。

停止中でもできます

① [◀◀/REW] [FF/▶▶] でまとめる 2 曲の後ろの曲を選ぶ。

② [MD EDIT] を押して “ COMBINE? ” を選ぶ。

③ [MEMORY/ENTER] を押す。

④ [MEMORY/ENTER] を押す。

お知らせ

2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲についていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。ステレオの曲とモノラルの曲は、1 つにまとめられません。

1 曲目を選んだときは “ COMBINE? ” は表示されません。

MD を編集する

**1 曲を
2 つに分ける
(ディバイド)**

準備：
[] を押して
MD を選ぶ。

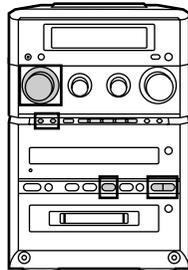
曲番
1 2

A 曲	B 曲
-----	-----

分ける

曲番
1 2 3

A 曲	B' 曲	B' 曲
-----	------	------



MD >||

<</REW FF/>>

押して
2 つに分ける曲の演奏を始める

MD 2 0:01

**1 曲 /
数曲を
選んで
消す
(トラック
イレース)**

録音を消す (イレース)

最大 24 曲まで
選べます。

準備：
[] を押して
MD を選ぶ。

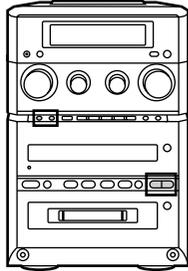
曲番 消す
1 2 3

A 曲	B 曲	C 曲
-----	-----	-----

消す

曲番
1 2

A 曲	C 曲	空き
-----	-----	----



MD EDIT

停止中に、押して
“TRACK ERASE?” を選ぶ

TRACK ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? ← TITLE ST.?
↓ ↑
ALL ERASE? → COMBINE?

**一度に
全曲を
消す
(オール
イレース)**

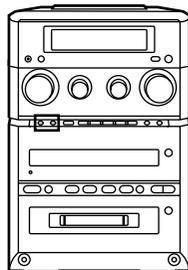
準備：
[] を押して
MD を選ぶ。

曲番
1 2 3

A 曲	B 曲	C 曲
-----	-----	-----

消す

空きディスク



MD EDIT

停止中に、押して
“ALL ERASE?” を選ぶ

ALL ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? ← TITLE ST.?
↓ ↑
ALL ERASE? → COMBINE?

ディバイドのとき

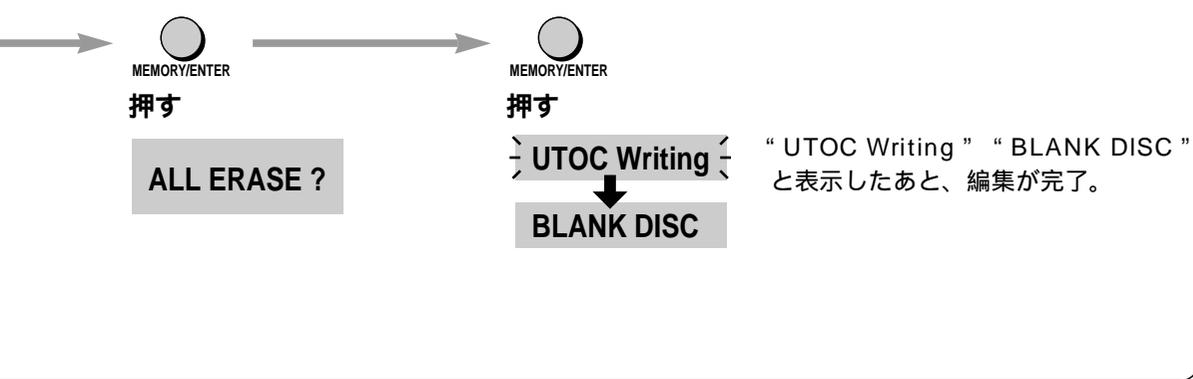
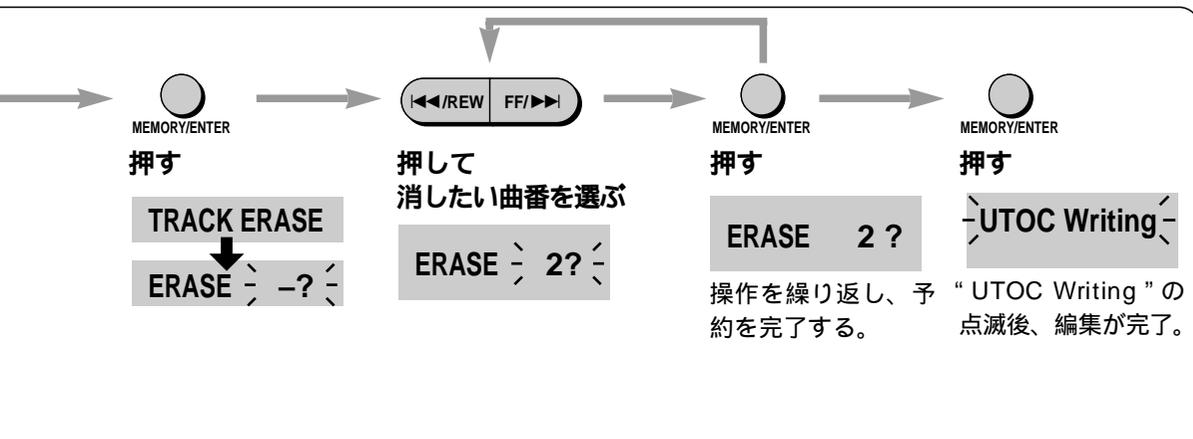
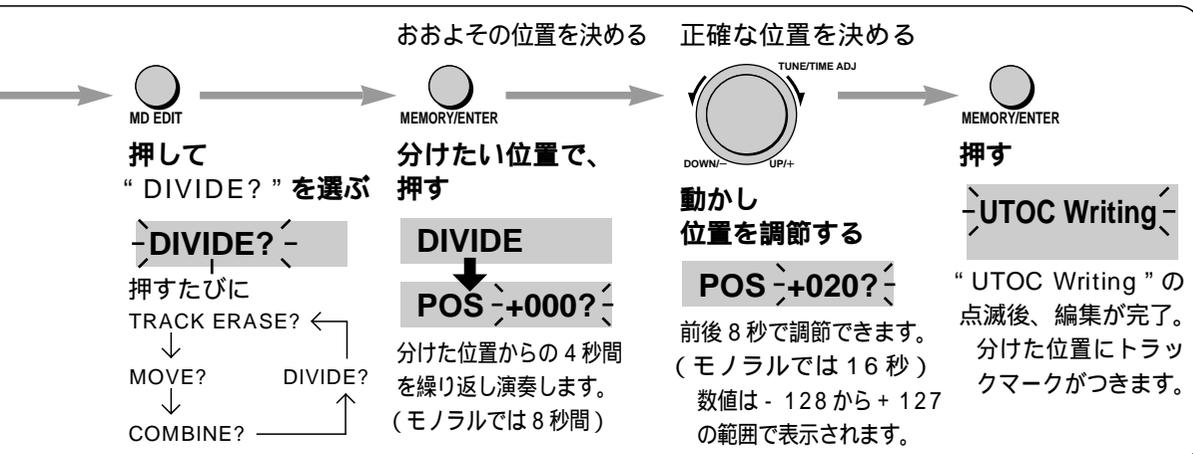
途中で解除するには
[] または [CANCEL] を押す。
編集前の状態に戻すには
コンバイン機能 (☞ 36 ページ) をお使いください。

お知らせ

タイトルのついた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。

イレースのとき

途中で解除するには
[] または [CANCEL] を押す。



使いかた

1 曲を 2 つに分ける (ディバイド)
1 曲 / 数曲を選んで消す (トラックイ
レース)
一度に全曲を消す (オールイレース)

トラックイレースのときには
演奏中 (または一時停止中) でもできます

- ① 消したい曲を演奏 (または一時停止) する。
- ② [MD EDIT] を押して “ TRACK ERASE? ” を選ぶ。
- ③ [MEMORY/ENTER] を押す。
- ④ [MEMORY/ENTER] を押す。

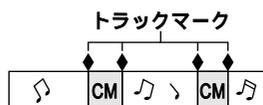
予約した曲を確認するには
曲を予約した後、[TUNE/TIME ADJ] を動かす。
予約した曲を順に表示します。

不要な CM などを消すには (MD 編集の応用例)

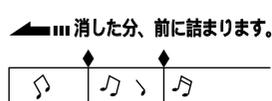
- ① ラジオ放送を録音する。



- ② ディバイドでトラック
マークを付ける。



- ③ トラックイレースで
CM の曲番を消す。



MD にタイトルを付ける

MD には文字 (タイトル) も記録できます。

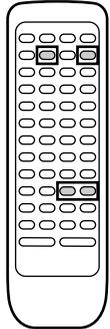
MD の名前 (ディスクタイトル) や曲の名前 (トラックタイトル) が各 100 文字まで記録できます。1 枚の MD にはアルファベットで約 1700 文字記録できます。(文字の種類、曲数などの関係で、少し減ることがあります。)

録音済み
MD にタ
イトルを
付ける

リモコンのみ

準備 : [] を押して
MD を選ぶ。

➔



TITLE



停止中に
押す

DISC? TITLE

REW (FPS) FF



押して
ディスクまたは曲番
を選ぶ

TR 1? TITLE

途中で解除するには
[] または [CANCEL] を押す。
ただしすでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

文字入力のかた

文字入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

(例 : "a" と入力する)

1	文字タイプ切替ボタンを押して、 文字の種類を選ぶ		 カーソル
2	数字ボタンを押して、文字を選ぶ 選んだ文字がエディットアイに表示 されます。		 エディットアイ
3	[→] を押す 文字が確定され、次の文字の入力画 面になります。		

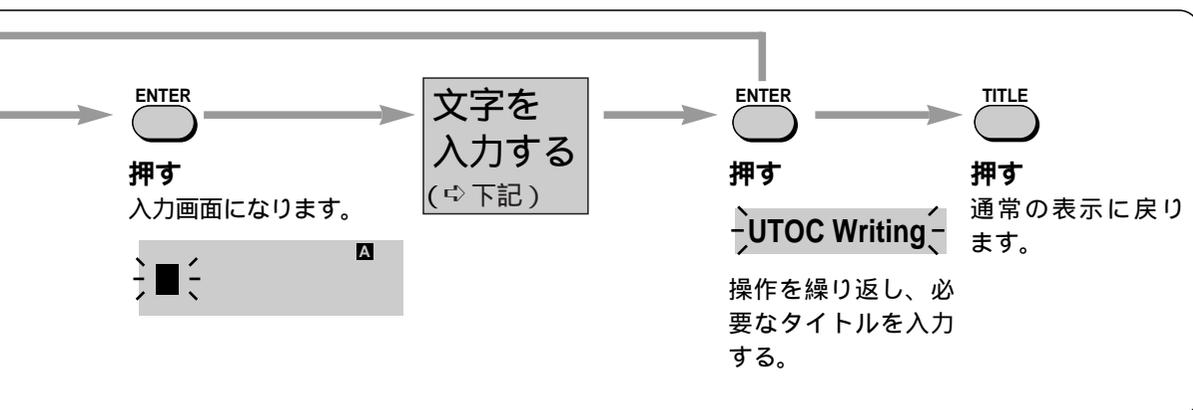
同じ種類の文字を入力するときは、手順 2 から始めて入力できます。
エディットアイに文字が表示されているときに別の数字ボタン・文字タイプ切替ボタンを押すと、現在表示している文字が確定され、その後次の候補文字 (文字タイプ) が表示されます。

° ° - を入力するには
[° ° -] を押す。押すたびに ° → ° → -
濁点や半濁点は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。
ありえない表記の場合は選択候補としても現れません。

記号を入力するには
[! " #] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ `

入力中に 1 文字分あけるには
[→] を押す。
カーソルが 1 つ右に移動します。



AUTO OFF	ENTER	CANCEL	TITLE
カナ	ABC	abc	123
ア	カ ABC	サ DEF	**
1	2	3	
タ GHI	ナ JKL	ハ MNO	!"#
4	5	6	
マ PQRS	ヤ TUV	ラ WXYZ	DELETE
7	8	9	≥10
←	ワラン	→	SPACE
	0		

訂正するには

- ① [←] または [→] でカーソルを動かし、訂正する文字の上に置く。
- ② 新しい文字を入力する。
以前の文字が消え、新しい文字が入ります。

削除するには

- ① [←] または [→] でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
- ② [DELETE] を押す。
カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

文字の間に新しい文字を入れるときには

- ① [←] または [→] でカーソルを動かし、文字を入れる位置の右の文字の上に置く。
- ② 間に入れる文字の数だけ [SPACE] を押す。
- ③ 新しい文字を入力する。

文字の種類と、各ボタンに割り当てられた文字
各数字ボタンを押すたびに、一文字づつ順に表示されます。

	カタカナ カナ	アルファベット		数字
		大文字 ABC	小文字 abc	
ア 1	アイウエオ アイウエオ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨヤユヨ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワラン 0	ワラン			0

お知らせ

文字の種類は入力中でも切り換えられます。
文字と、濁点・半濁点の間に空白などは入れられません。

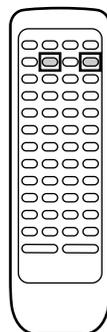
使いかた

録音済みMDにタイトルを付ける
文字入力のかた

MD にタイトルを付ける

**AUTO
REC
モードで
録音中に
(30 ページ)
曲名をま
とめて
入力する**

準備：
[] を押して
MD を選ぶ。



TITLE

録音中に
押す

CD 1 → MD 1

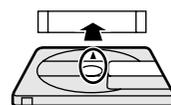
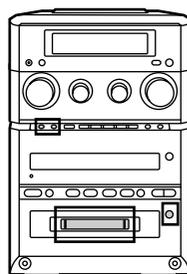


1 曲目の入力画面になり
ます。

**他の MD に
タイトルを
コピーする
(タイトルステ
ーション)**

同じ曲を複数の
MD に録音する
場合、1 度タイ
トルを入れてお
けば、2 度目か
らは入力の手間
が省けます。
下記の「タイ
トルをコピーす
る前に」をお読
みください。

準備：
[] を押して
MD を選ぶ



コピー元の MD を入
れる

AUTO REC モード以外で録音中 (または演奏中) にタイトルを付ける

録音中 (または演奏中) にも、タイトルを付けることができます。

- ① 録音中 (または演奏中) に、[TITLE] を押す。
- ② 文字を入力する。
- ③ [ENTER] を押す。

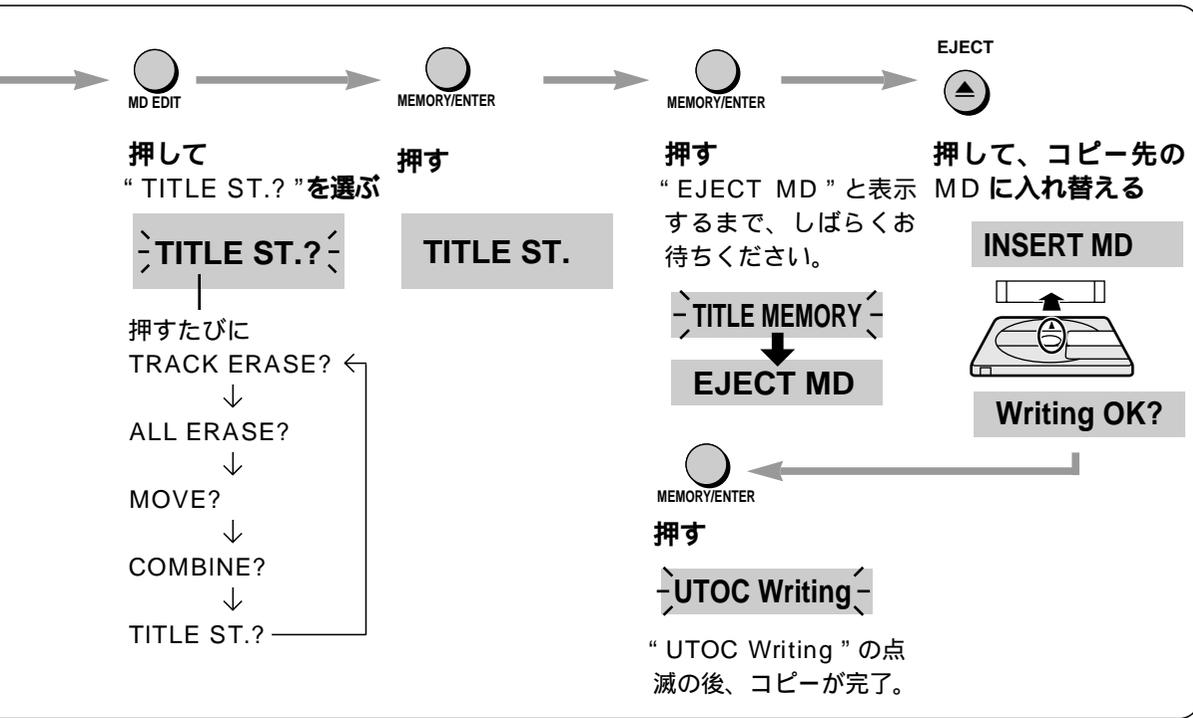
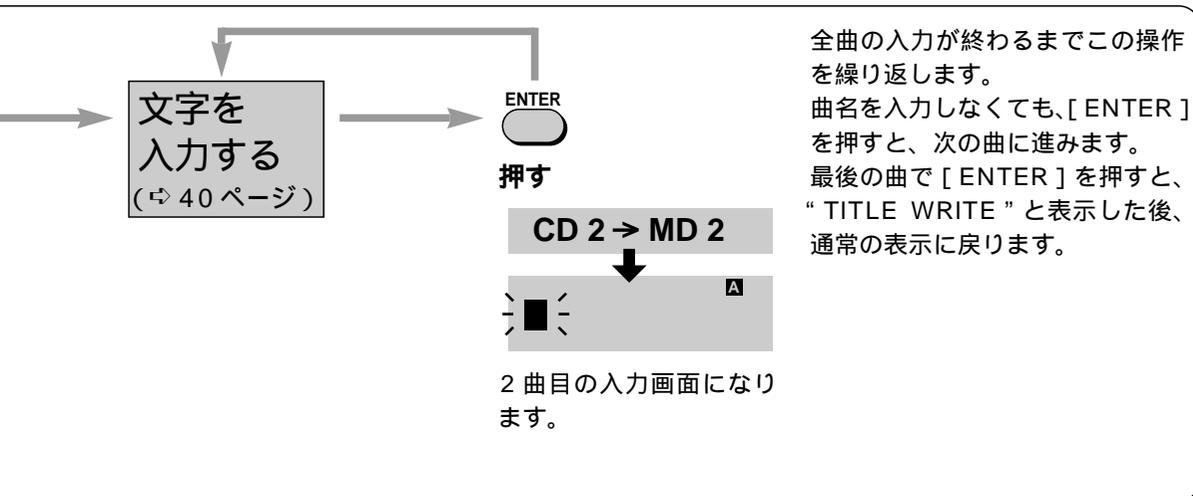
録音 (または演奏) が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。ただし 1-REC モードで録音中は、録音が終了するとそれ以上のタイトル入力はできません。

お知らせ

演奏中にタイトル入力した場合は、[] を押して “UTOC Writing” と点滅するまで、ディバイドなどの編集操作が行えません。

録音中 (または演奏中) に入力できる最大文字数は、約 1200 文字です。

エリアバンクで記憶された放送局を録音すると、自動的に放送局名が記憶されます。このため、タイトル入力できる最大文字数が少なくなり、タイトルを入力しても、記録されないことがあります。



トラックタイトルをまとめて入力するとき

途中で止めるには

[] または [CANCEL] を押す。
ただし [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

お知らせ

一度タイトル入力を終了し通常の見返しに戻ると、それ以上のタイトル入力はできません。タイトルの追加や訂正は、録音後のタイトル入力で行ってください。

タイトルステーションのとき

タイトルをコピーする前に

コピー元とコピー先のMDの曲数が同じときだけコピーできます。
演奏専用MDや、未録音のMD (BLANK DISC) は使用できません。
すでにタイトルの入っているMDにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

途中で止めるには

[] または [CANCEL] を押す。

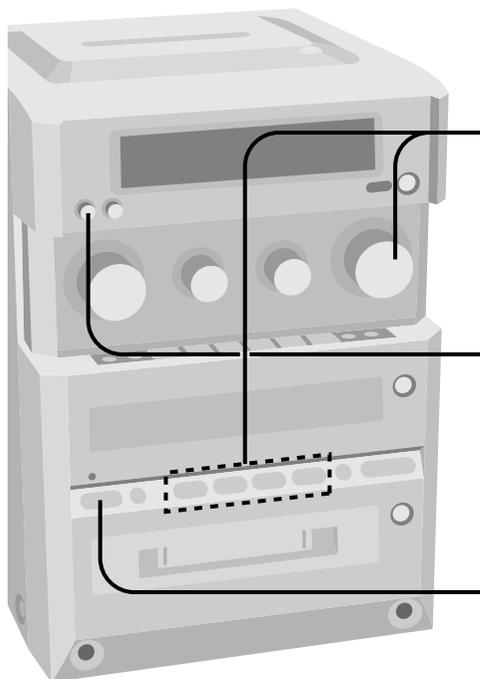
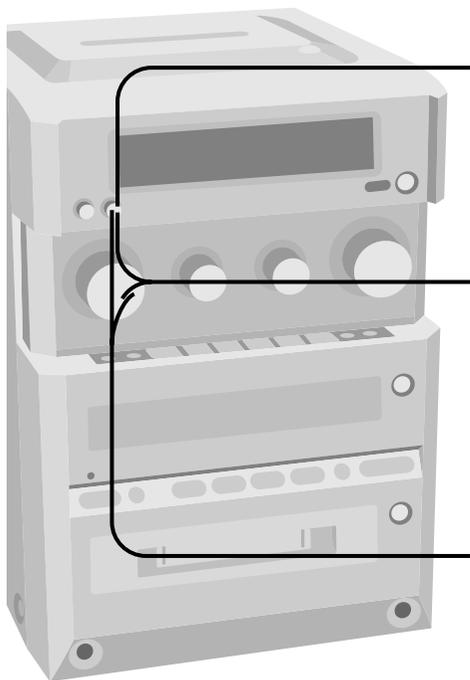
お知らせ

本機が記憶できるタイトルは、MD1枚分です。
電源を切るとタイトルの記憶は失われます。

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

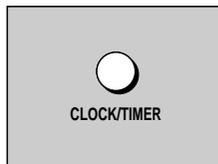
準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。
(⇨10 ページ)



設定した時刻に電源が入り、好みのソース(音源)を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。時刻設定を一度しておく、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

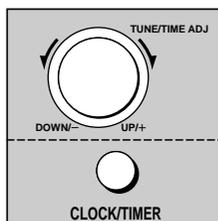
時刻設定

1



2回押して
おめざめタイマー時刻設定画面にする

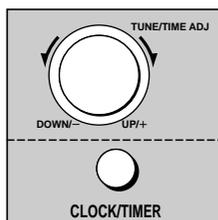
2



約10秒以内に、動かし
開始時刻に合わせ

↓
押す

3

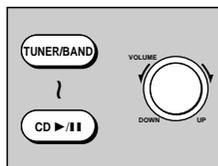


動かし
終了時刻に合わせ

↓
押す

ソース・音量・タイマー実行設定

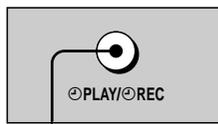
4



ソースと音量を選ぶ

① ソースを演奏し、
② 音量を調節、
③ MD・CD・テープは演奏を止める。

5



タイマーランプ

押して
“TIMER-PLAY”を選ぶ

タイマーランプが点灯します。

6



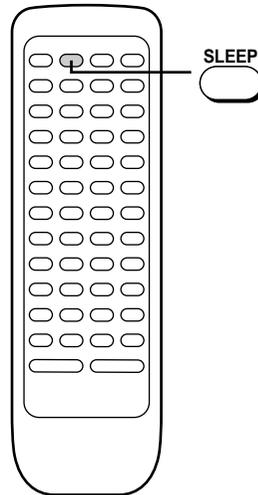
押して
電源を切る

解除するには :[⊙PLAY/⊙REC] を押して、“TIMER-OFF”を選ぶ。タイマーランプが消灯します。

おやすみタイマーを使う

リモコンのみ

指定した時間がくると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。



表示例) 6:30 ~ 7:40 まで好みのソースを演奏する場合



外部機器を使ったタイマー設定
本機のソースを AUX にした後、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

[PLAY] **TIMER-PLAY**

設定した時刻になると、決めた音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。

ソースを聞きながら

[SLEEP] を押して演奏時間を指定する



押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF

(単位：分)

解除するには

[SLEEP] を押して “ SLEEP OFF ” を選ぶ。

残り時間を確かめるには

[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

残り時間を変えるには

[SLEEP] をポンポンと押して、新たに時間を指定する。

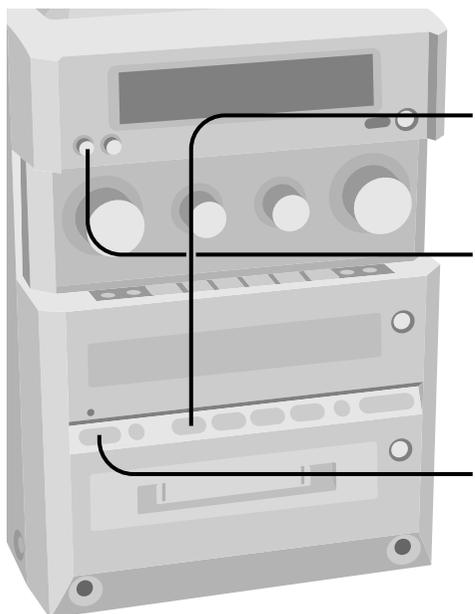
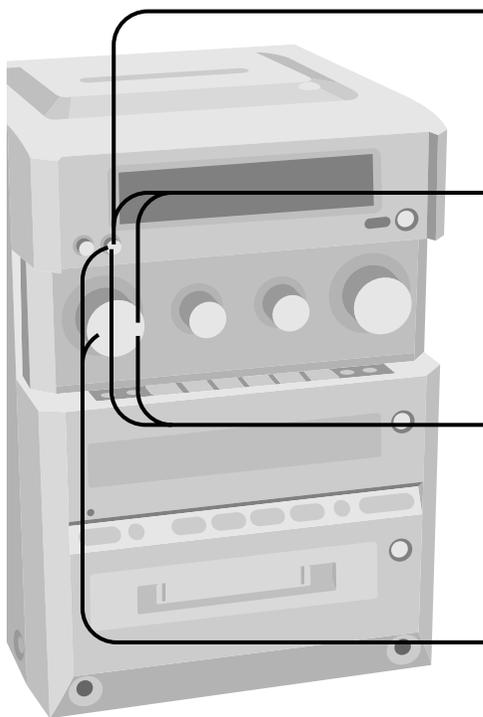
お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ / 留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

タイマーを使う

留守録タイマーを使う

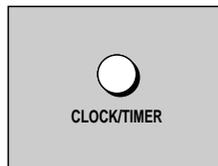
- 準備：① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(中10ページ)
③ 録音用 MD (またはテープ) を入れる。



設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

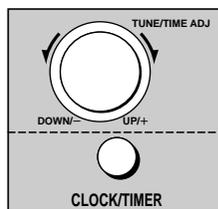
時刻・録音先設定

1



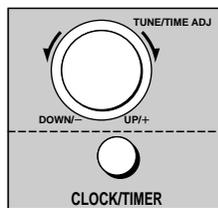
3回押しして
**留守録タイマー
時刻設定画面
にする**

2



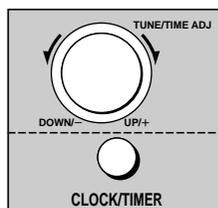
約10秒以内に、動かし
開始時刻に合わせ
↓
押す

3



動かし
終了時刻に合わせ
↓
押す

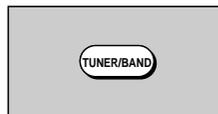
4



どちらに録音
するかを選び
↓
押す

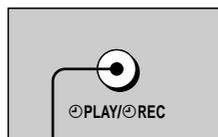
ソース・タイマー実行設定

5



押しして
**放送局を受信
する**

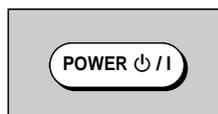
6



タイマーランプ

押しして
**“TIMER-
REC”を選ぶ**
タイマーランプが点
灯します。

7



押しして
電源を切る

解除するには：[PLAY/REC] を押しして、“TIMER-OFF”を選ぶ。タイマーランプが消灯します。

いろいろなタイマー操作について

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

予約した内容を確認するには
電源「切」のとき
[CLOCK/TIMER] を押す。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。

おめざめタイマー
開始・終了時刻 ソース（音源） 音量
留守録タイマー
開始・終了時刻 ソース（音源） ソースと録音先
電源「入」のとき

[CLOCK/TIMER] を押して、“⊙PLAY”または“⊙REC”を表示させる。

開始・終了時刻のみが表示されます。

操作をまちがえたり、予約内容を変えるときは
電源を入れ、最初からやり直す。

予約したあとに、本機で演奏を楽しむには

- ① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
- ② 演奏後は、電源を切る。

テープをタイマーのソース（音源）に選んでいるときは、走行方向を確認してから電源を切ってください。

音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

タイマー動作する / 動作しないを切り換えるには
タイマーは、“⊙PLAY”（または ⊙REC）が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないときは、[⊙PLAY/⊙REC] で表示を消します。

お知らせ

タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。

MDに録音するときには、あらかじめ好みのMD録音モードにして、留守録タイマーを使うこともできます。（選べるモードはソースによって異なります。）

ただし、TURN BACKまたはTURN/TIMEモードを選んで、手順2で設定した開始時刻から録音が始まります。

表示例) 18:30 ~ 20:00 まで
好みの放送を録音する場合



外部機器を使ったタイマー設定
本機のソースをAUXにした後、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。



頭切れ防止のため、設定した時刻の30秒前になると、タイマー動作が始まります。
録音時、音量は自動的に最小になります。

MD ネットワーク機能を使う

MD ネットワーク対応のポータブルMDプレーヤーや、ビジュアル/タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、MDの楽しさがさらに広がります。

MD ネットワーク対応の ポータブルMDプレーヤーをつなぐ

本機からポータブルMDプレーヤーをコントロールして、録音/タイトルコピーが簡単に行えます。電源を切った状態で接続してください。

対応品



カタログにこのマークが付いているポータブルMDプレーヤーです。（SJ-MJ75など）

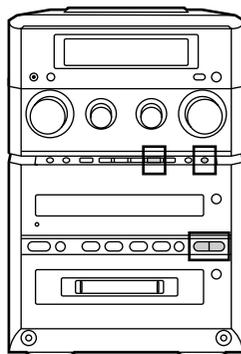
ネットワーク機能でMDからMDに録音する

本機ではデジタル信号 アナログ信号 デジタル信号と順に変換して録音します。

録音元MDにタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側のMDに、自動的にコピーされます。

準備：

- ① ポータブルMDプレーヤーに、録音元MDを入れる。
- ② 本機の電源を入れ、録音用MDを入れる。



押す

P-MD SYNCHRO

P-MD SYNCHRO

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブルMD側の総曲数が表示されます。

P-MD (12Tr)

総曲数

ポータブルMD側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されます。

録音用MDには、少し余裕のあるものを録音元MDにトラックマークが付いているときは、新たに録音したMDの同じ位置に、約1秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元MDの演奏時間より長くなります。録音の失敗を防ぐために、少し長めのMDをお使いください。

録音が終わったらポータブルMDプレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

“P-MD”が点滅したらボタン操作がない状態で約4分以上放置されているため、MDネットワークが休止状態になっています。ネットワーク機能を使うときは、もう一度[P-MD]を押してください。

動作中（TOC読み込みなど）に“P-MD ERROR”と表示したらMDネットワークに異常があります。ポータブルMDプレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度[P-MD]を押してください。



プラグは奥までしっかり差し込んでください。

お願い
ポータブルMDプレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

全曲録音するとき



押す

P-MD → MD
[MD]REC

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

P-MD 1Tr
[MD]REC

1曲ずつ録音するとき



押して
曲番を選ぶ

P-MD 2Tr

曲番

確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。



押す

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1曲の録音が終わると自動停止します。

お知らせ

MDネットワーク対応のパーソナルMDシステム/他のMDステレオシステムをつないでも、この機能は働きません。

市販の演奏用MDから録音する場合、タイトルはコピーされません。

ディスクタイトルがついているMDに録音した場合は、ディスクタイトルはコピーされません。トラックタイトルは、タイトルのついたMDに録音してもコピーされます。

MDネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。

ビジュアル/タイトルプリンター(対応品: SH-CP30)を使うにはMDに付いているタイトルを元にして、MDのラベルが印刷できます。
詳しくは、ビジュアル/タイトルプリンターの説明書をお読みください。

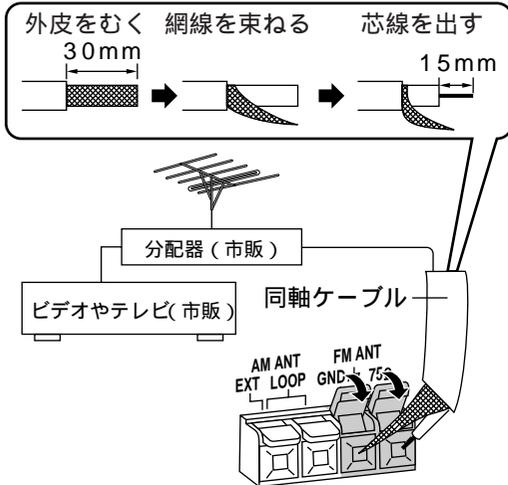
ポータブルMDプレーヤーをつなぐネットワーク機能でMDからMDに録音する

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

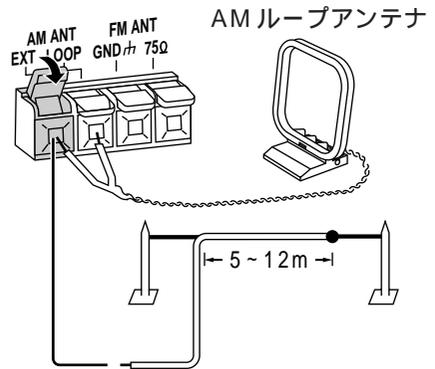
FM (テレビアンテナの利用)

付属のFM簡易型アンテナは取りはずします。



AM (市販のビニール線)

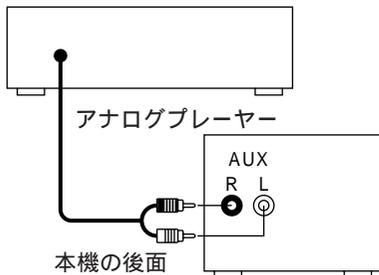
付属のAMループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。窓際などに、水平に設置します。



別売り機器の接続

別売り品の品番は、1999年8月現在のものです。品番は変更されることがあります。

アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など (AUX : アナログ接続)

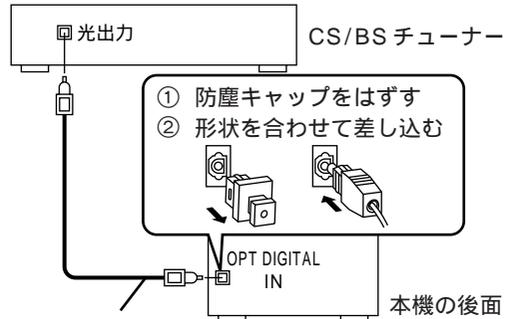


アナログプレーヤーをつなぐにはフォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。そのままつなぐと、音が小さくなります。

推奨品：パナソニック SL-J8 (フォノイコライザー内蔵)

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー (サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT) が必要です。

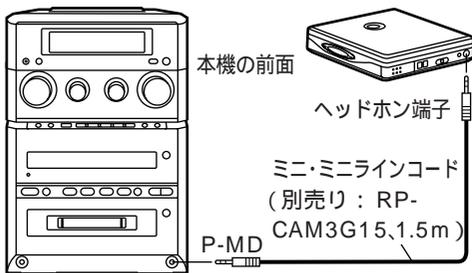
CS/BS チューナー、MD レコーダーなど (OPT DIGITAL IN : デジタル接続)



オプティカルデジタルケーブル
(別売り：RP-CA2010A、1m)

光入力端子を使わないときはほこりが入ると誤動作の原因になるため、防塵キャップを付けておいてください。

ポータブル MD プレーヤー (P-MD)



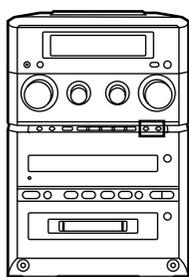
ポータブル MD プレーヤーのヘッドホン端子に接続してください。

ポータブル MD プレーヤーの音量を調節し、音質機能をすべて「切」にしてください。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーの場合は、48・49 ページの方法で接続すると簡単に録音できます。

別売り機器を使う

つないだ機器の演奏を本機で楽しむ



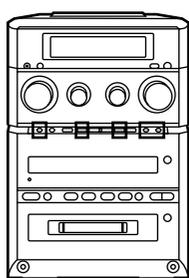
ANALOG/DIGITAL



準備：電源を入れる。
押して、ソース(音源)を選ぶ
 P-MD - P-MD 端子に接続したポータブル MD プレーヤー
 AUX - [AUX] を押すたびに
 “ANALOG-IN”：
 AUX 端子に接続した機器
 “DIGITAL-IN”：
 OPT DIGITAL IN 端子に接続した機器

ソースの演奏を始める

つないだ機器から本機の MD に録音する



ANALOG/DIGITAL



準備：電源を入れる。
押して、ソースを選ぶ
 P-MD - P-MD 端子に接続したポータブル MD プレーヤー
 AUX - [AUX] を押すたびに
 “ANALOG-IN”：
 AUX 端子に接続した機器
 “DIGITAL-IN”：
 OPT DIGITAL IN 端子に接続した機器

押して、録音モードを選ぶ
 (⇒ 35 ページ)

ポータブル MD から録音するとき
 は、MANUAL と SYNCHRO のみ選べます。

押す



MEMORY/ENTER



押す

TURN BACK・TURN/TIME 選択時は
 “TURN BACK” の表示が点滅点灯に変わるまでお待ちください。

ソースの演奏を始める

ターンバックと
 ターンタイム
 TURN/TIME 選択時のみ



押す

CS/BS チューナー
 アナログプレーヤー
 ポータブル MD プレーヤー
 などから本機の MD
 に録音できます。

MD ネットワーク
 対応のポータブル
 MD プレーヤーの
 場合は、48・
 49 ページの方法
 で録音すると便利
 です。

- つないだ機器から、本機のテープに録音するには
- ① [AUX] または [P-MD] を押して、ソース(音源)を選ぶ。
 - ② リモコンの [REV MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
 - ③ [/ II, TAPE] を押す。
 - ④ ソースの演奏を始める。
 途中で止めるには [] を押す。

P-MD 端子について
 この端子は、ポータブル MD プレーヤーとビジュアル/タイトルプリンター専用です。
 端子の感度が通常とは異なるため、他の機器はつながりません。

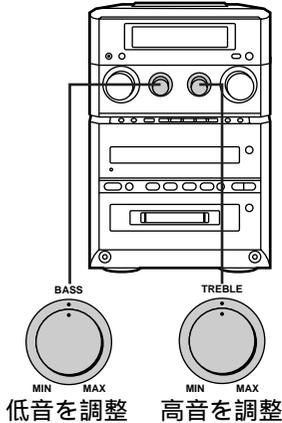
“DIGITAL-IN” 表示中は
 本機の MD を取り出すと、演奏音が少し途切れます。
 MD への録音開始時に、約 1 秒間、演奏音が途切れます。(録音には影響しません)
 MD への録音終了時に UTOC を記録するため、約 5 秒間演奏音が途切れます。

お知らせ

本機にはサンプリングレートコンバーター機能が付いているため、CS / BS チューナーの音声 (32 kHz / 48 kHz) も録音できます。
 曲によっては、SYNCHRO 録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されないことがあります。この場合は、通常の方法で録音してください。

便利な機能

低音・高音を調整する



低音を調整 高音を調整

回す

低音・高音とも、 $-6 \sim +6$ の範囲で調整できます。

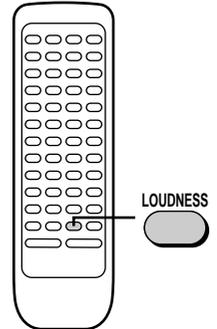


小音量で迫力ある音を楽しむ

(ラウドネス)

リモコンのみ

低音・高音を強調し、小音量でも音に迫力を持たせます。



押す



LOUDNESS ON

解除するには、もう一度押す。
“LOUDNESS OFF”が表示されます。

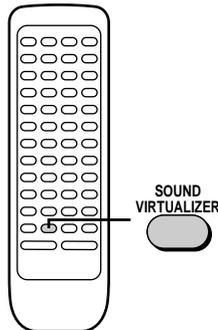
ラウドネス効果を使っているときは、低音・高音の調整は効きません。

音に臨場感を与える

(サウンドバーチャライザー)

リモコンのみ

中音部(ボーカルなど)を安定させたまま、音に自然な広がりとお行きを与えます。



押す

S.V. ON

解除するには、もう一度押す。
“S.V. OFF”が表示されます。
ステレオ音声に効果があります。
ヘッドホンで聞くときは、スピーカーで聞くより効果が少なく聞こえます。

お知らせ

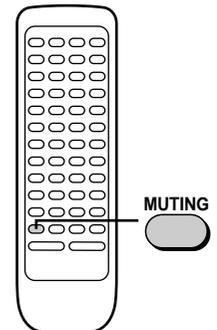
FMステレオ放送を聴いていて雑音が多いときは、解除してください。

一時的に消音する

(ミュート)

リモコンのみ

電話がかかってきたときなどに便利です。



押す

MUTING

解除するには、もう一度押して“MUTING”を消す。
または

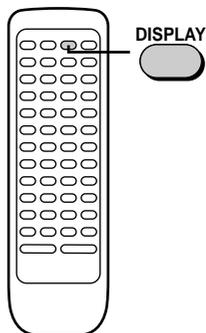
[VOLUME]を左に回して、“- - dB”を表示させる。

電源を入れ直す。

MD 使用時に表示を切り換える

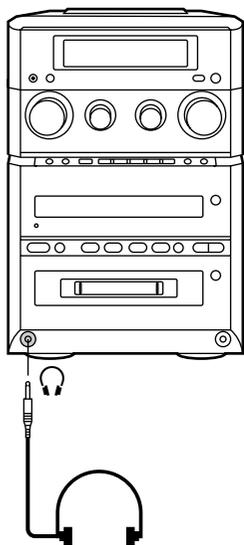
リモコンのみ

MD 使用時(再生・停止・録音)に、タイトル、録音できる時間などを表示します。表示する情報は、操作によって異なります。



ポンポンと押す

ヘッドホン(別売り)で聞く



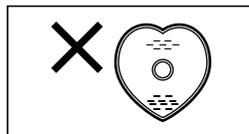
接続するときは、音量を下げてください。耳を刺激するような大きな音で長時間聞くことは、避けてください。
プラグタイプ:
 ステレオミニ(M3)
推奨品:
 RP-HT400、
 RP-HT242
 (ともに別売り)

CD について

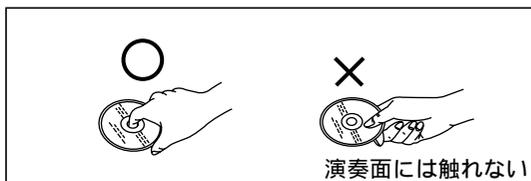


このマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD は使わないでください。(機器の故障の原因になります)



持ちかた

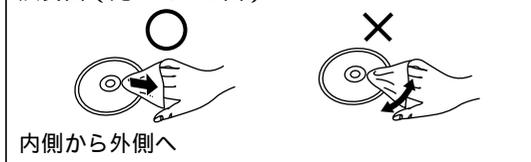


演奏面には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

演奏面(光っている面)



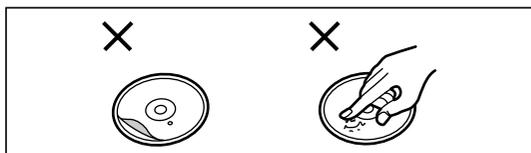
内側から外側へ

露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のごお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
 レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
 紙やシール、ラベルを貼らない
 シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない



使いかた

CDについて

MD について

MDの種類

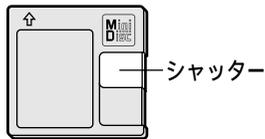
演奏専用 MD (録音できません)

ビットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。



録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。



MDの録音・編集について

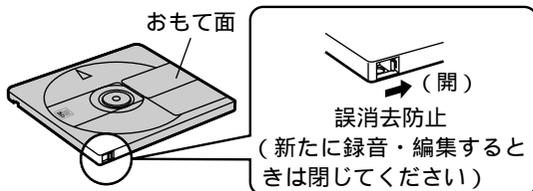
テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。ディスクがいっぱいになったときは、イレース(消去機能)で、いらぬ曲を消してから録音します。(上書き録音はできません)

MD 1枚への録音曲数は、収録時間内で最大 254 曲までです。

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

大切な録音を消さないために
誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらしません。



MDの録音方式

本機の CD や別売りのデジタル機器 (BS チューナーなど) をデジタル接続 (→50 ページ) したときの録音

デジタル信号をそのままデジタルで録音します。ただし、この録音には SCMS という制限があります。(右記参照)

本機のラジオやテープ、別売りのアナログ機器 (アナログプレーヤーなど) の録音

アナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。別売りのデジタル機器をアナログ接続 (→50 ページ) したときの録音

デジタル信号 アナログ信号 デジタル信号と順に変換して録音します。

デジタル録音の制限について (SCMS)
デジタル録音には、SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) という制限があります。本機で CD から MD へ、または光ファイバーケーブルを使って別のデジタル機器から本機の MD へ録音すると、信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。そこで、著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。なおアナログ録音にはこのようなしくみはありません。

録音・編集時のお願い
録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing” の点滅前に電源が切れると、録音・編集が MD に記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。

よく出てくる MD用語

トラックマーク
録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

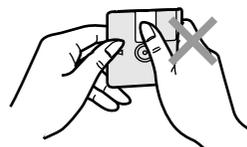
TOC (Table of Contents)
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

ユーフトック (User Table of Contents)
自分で自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。MD に UTOC が書き込まれているときは、“UTOC Writing” と表示され、注意を促します。

マーキング MARKING
録音中にトラックマークを記録することです。本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

取扱上のおお願い

指定外の位置にラベルを貼らない
(また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので、使用しないでください)
シャッターを開かない
(万一開いてしまったときは、すぐ閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください。)



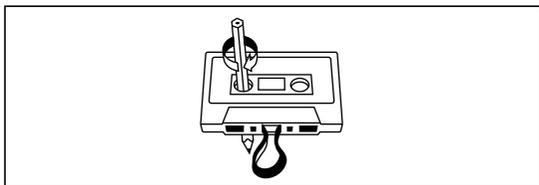
テープについて お手入れ

100分を超えるテープ

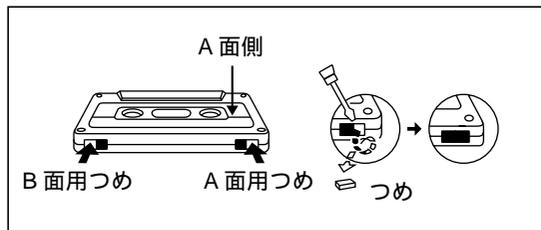
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

エンドステープはオートリパス対応のものを使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

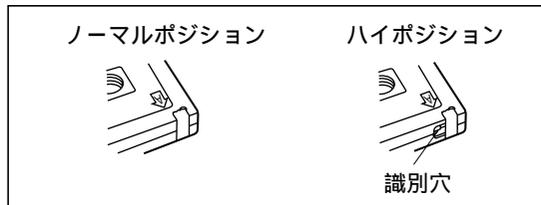
テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。



もう一度録音するには
セロハンテープなどを貼ってください。



ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないで
ください。

録音を消して無音テープを作るには

- ① [] を押して、テープを選ぶ。
- ② テープを入れる。
- ③ リバースモードを選ぶ。
- ④ [/ II、TAPE] を押す。

保管(CD・MD・テープ)

次のような場所に置かない
直射日光の当たる場所
湿気やほこりの多い場所
暖房器具の熱が直接当たる場所

本体が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布で拭き、後はからぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

MD・CDをよい音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーなどで、定期的に清掃されることをおすすめします。

MD レンズクリーナー(別売り: RP-CL310)
MD 録音ヘッドクリーナー(別売り: RP-CL320)
CD レンズクリーナー(別売り: RP-CL510)

テープをよい音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの
ほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先:(社)私的録音補償金管理協会

☎03-5353-0336

放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本 部	(03)3502-6551	中部支部	(052)583-7590
北海道支部	(011)221-5088	北陸支部	(0762)21-3602
盛岡支部	(0196)52-3201	京都支部	(075)251-0134
仙台支部	(022)264-2266	大阪支部	(06)6244-0351
大宮支部	(048)643-5461	大阪北支部	(06)6244-7077
東京支部	(03)3562-4455	神戸支部	(078)322-0561
西東京支部	(03)3232-8301	中国支部	(082)249-6362
親(心)ノカト(親)	(03)5286-1671	四国支部	(0878)21-9191
立川支部	(0425)29-1500	九州支部	(092)441-2285
横浜支部	(045)662-6551	鹿児島支部	(0992)24-6211
静岡支部	(054)254-2621	那覇支部	(098)863-1228

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	50
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。音声のみ本機でお楽しみいただけます。	50
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	50
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
MDへの録音	MD ネットワーク対応している機器は？	 <p>カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。</p>	48・49
	MD で長時間録音 (モノラル) する方法は？	MD 以外のモードで“LP MODE”と表示するまで、[MD REC MODE, - SP/LP] を押し続けます。あとは、通常の録音操作をしてください。	21
	録音用 MD の残り時間を知りたい	リモコンの [DISPLAY] をポンポンと押して、残り時間表示にしてください。停止中は、[] を押して MD モードにしてから、[DISPLAY] を押してください。	21
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。MD の残り時間が少ないときは、いらぬ曲をイレースで消してから録音してください。	
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音レベルは一定です。録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	21
その他	メタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。電源の周波数は本機内部で自動的に切り換わります。	

こんな表示が出たら

表示	意味	処置
ADJUST CLOCK	電源コードを接続した直後か、あるいは停電のあった可能性があります。	時計を合わせてください。
ADJUST TIMER	タイマーの時刻が設定されていません。	時刻を設定してください
CAN NOT/TITLE INPUT	AUTO REC モードで CD 録音中のタイトル入力は 1 度しかできません。	録音後にタイトル入力してください。
CAN 'T COMBINE	コンバインできません。	MD のシステム上の制約です。
CAN 'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD のシステム上の制約です。
CAN 'T EDIT	他の機器で 101 文字以上のタイトルをつけた MD を、本機でタイトル編集しようとした。	タイトル編集できません。 編集した機器で文字数の少ないタイトルにつけなおしてください。
CAN 'T MEMORIZE	転写元の MD のタイトルを記憶できていません。	再度操作してください。
CHANGE TIME	タイマーの ON と OFF が同時刻になっています。	時刻を変えてください。
DISC ERROR	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取りかえてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取りかえてください。
DISC/PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MD を出し入れしたとき異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MD をいったん抜いて、電源を入れ、操作しなおしてください。
EMERGENCY/STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、もう一度操作しなおしてください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書にしたがって操作しなおしてください。
MD F26	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切 / 入した後、MD を入れなおしてください。 それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
PlaybackDISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとした。	録音用 MD に取りかえてください。
SCMS/CAN 'T COPY	デジタル録音した MD から、さらに別の MD にデジタル録音しようとした。	アナログ接続で録音してください。
	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとした。	オーディオ用の CD に取りかえてください。
TITLE FULL	この曲にはこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	この MD にはこれ以上タイトル入力できません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
TOC Reading	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	TOC Reading 消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER/ NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数のおなじ MD に取りかえてください。
TRACK/PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UNLOCK	デジタル録音できません。	光ファイバーケーブルの接続を確認してください。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとした。	MD のシステム上の制約です。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。



	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ	
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9	
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9	
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9	
		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	50	
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。電源コードを逆に差しかえてみる。	/	
	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9	
再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	8・9		
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	50	
	ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。			
	“STEREO”が点滅する。	送信所が遠くありませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーの電源を切ってみる。	/
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。			
ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	テレビアンテナを利用してみる。	50		
AM	雑音が多い。	テレビやパソコンと同時に使用したり、携帯電話機の充電を近くでしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	/	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。		
テープ	音が小さい、音が途切れる。音が良くない。雑音が多く出る。音がかすれたり、ふるえる。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	55	
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	55	
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	/	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線の本機から離す。		
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7	
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7	
CD	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り替える。	53	
		寒い所から急に暖かい所へ持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	/	
	特定の箇所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	53	
	一曲しか録音できない。	1-RECモードになっています。	[CD EDIT]を押して、1-RECモードを解除してください。	30	

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
M D	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がある。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。 タイトルが入力できない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	54
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数(英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分)を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	40
	MDを入れても“TOC Reading”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で[▲、EJECT]を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	①[POWER 〇/1]を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ②電源を入れ、すぐ[▲、EJECT]を押す。MDが出てきます。(出てこないときは、手順①②をくりかえす) ③MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	



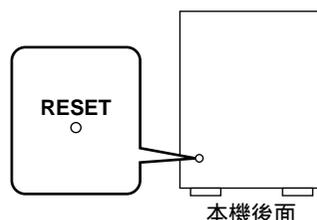
必要なとき

MDの制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに“UTO C FULL”が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。(MD1枚の最大曲数254曲) 録音のしかたによっては、254曲以下であっても録音できないことがあります。
コンバイン/ディバインド機能が使えないことがある。 曲を消しても残り時間が増えない。 早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
録音した時間と残り時間を足しても、MDの最大録音時間にならない。	MDは、2秒以下の音声を録音する場合でも、約2秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

動作や表示がおかしいときは

- ① 電源プラグを抜く
- ② 先の尖ったもので[リセット]を5秒以上押す
本機内部のメモリーがすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。各種メモリーの再設定を行ってください。
上記操作をしてもなお表示がおかしいときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



各部のなまえ

本体

①などの数字は参照ページです。

クロック タイマー
CLOCK/TIMER

(時計/タイマー)ボタン
①④④⑥

タイマープレイ タイマーレック
ⓂPLAY/ ⓂREC

(タイマー入/切)ボタン
④④⑥

バス
BASS(低音)つまみ ⑤②

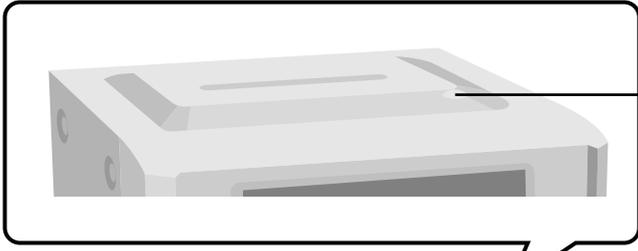
チューン タイム アジャスト
TUNE/TIME ADJ(周波数・時刻調節)つまみ
①①①⑨③⑨

CDトレイ

パワー
POWER Ⓜ / I(電源)ボタンと Ⓜ / K(通電)ランプ ①

モード
MODE(節電)ボタン ⑩

ヘッドホン(🎧)端子 ⑤③



▲、OPEN
(テープホルダー開)ボタン ⑰

リモコン受光部 ⑦
オープン クローズ
OPEN/CLOSE
(ガイドパネル開/閉)ボタン ⑩

トレブル
TREBLE(高音)つまみ ⑤②

ボリューム (音量調整)つまみ ⑬

▲、OPEN/
クローズ
CLOSE(CDトレイ開/閉)ボタン ⑮

メイン操作部

▲、EJECT(MD取り出し)ボタン ⑬

MD挿入口

ポータブルMD
P-MD(MDネットワーク)端子 ④⑧

レコーディングモード
MD REC MODE、
スタンダード ロング
- SP / LP
(MD録音モード)ボタン ⑳ ㉓

、MD&TAPE
(MD・テープ同時録音)ボタン ㉓

/ |||、TAPE
(テープ録音/一時停止)ボタン ㉓

/ ||| MD
(MD録音/一時停止)ボタン ㉑

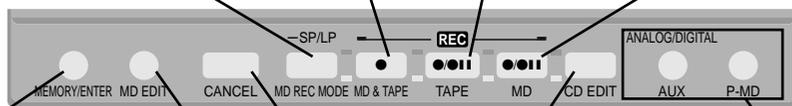
メモリー エンター
MEMORY/ENTER
(記憶/確定)ボタン ㉑ ㉓ ㉗

エディット
MD EDIT
(MD編集)ボタン ㉗

キャンセル
CANCEL
(取り消し)ボタン ㉖

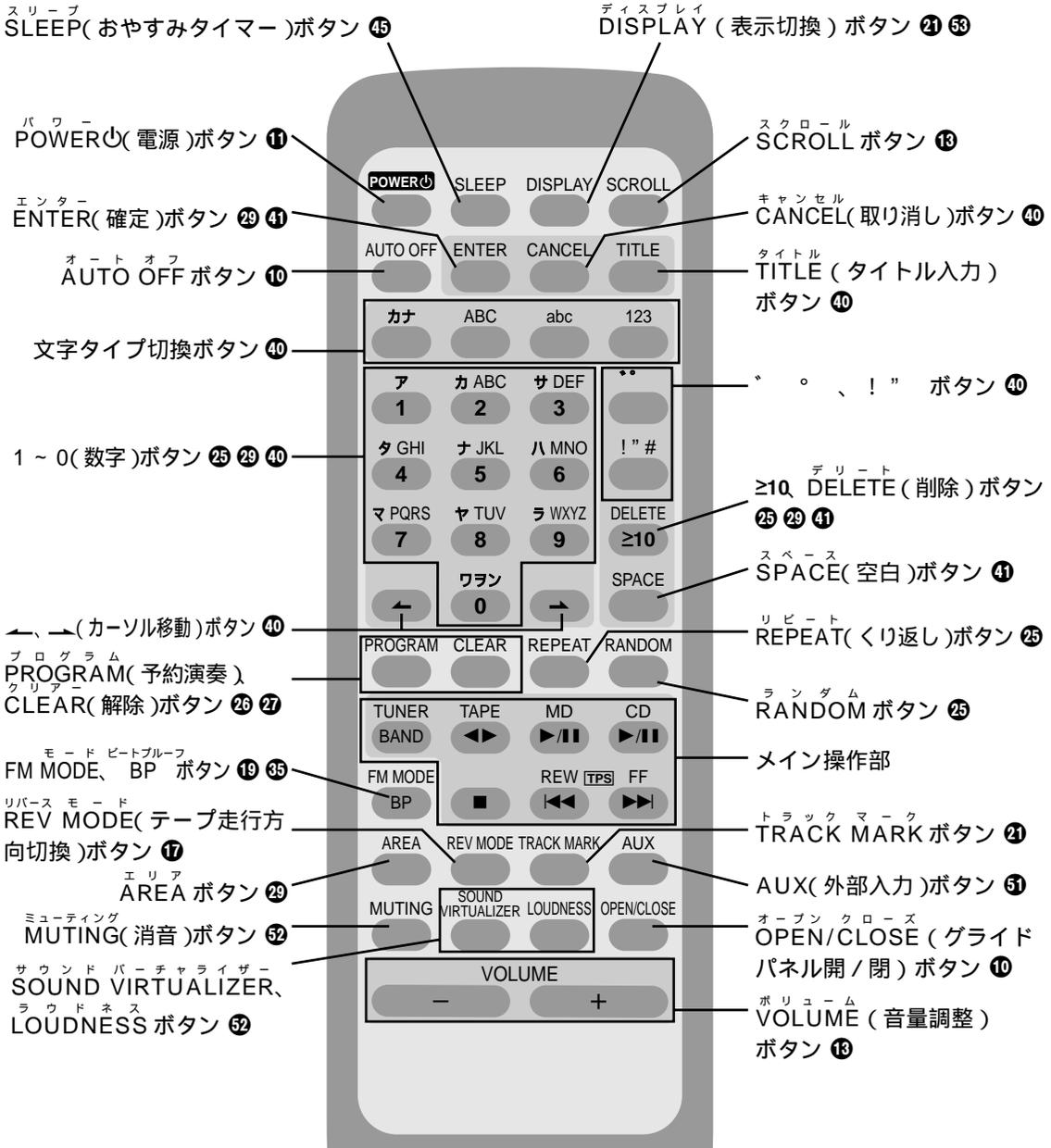
エディット オートレック
レック
CD EDIT(AUTO REC
モード・1-RECモード)ボタン ㉑

外部入力
切替ボタン ④⑧ ⑤①



リモコン

リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。



必要なとき

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ!

その他のお問い合わせは、「お客様ご相談セン
ター」へ!

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確
かめ、お買い上げの販売店からお受け取りく
ださい。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼されるとき

58 ~ 59 ページの表に従ってご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせてい
ただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希
望により有料で修理させていただきます。
ただし、MD ステレオシステムの補修用性能部
品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
(この期間は通商産業省の指導によるものです)
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで
構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部
品交換・調整・修理完了時の点検な
どの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助
材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣
する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・
お買い物の
ご相談は

フリーダイヤル
(料金無料)



0120-878-365

パナは 365日

365日 / 受付9時 ~ 20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444

Osaka (06) 6645 - 8787



ナショナル/パナソニック

修理ご相談窓口



修理の
ご相談は

ナビダイヤル (全国共通番号) **☎ 0570-087-087**

お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。
(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目 7-11 ☎(0155)33-8477
旭川 旭川市2条通2丁目 左1号 ☎(0166)31-6151	函館 函館市西栲楼589番地241 (函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

近畿地区	
滋賀 守山市勝部町6丁目2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
京都 京都市南区上鳥羽石橋町 20-1 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(0734)75-1311
大阪 大阪市北区本庄西1丁目 1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町 3丁目2-6 ☎(078)272-6645

東北地区	
青森 青森市大字ハッ役字矢作 1-37 ☎(0177)39-9712	宮城 仙台市泉区市名坂 字清水端59-2 ☎(022)375-2512
秋田 秋田市御所野湯本2丁目 1-2 ☎(018)826-1600	山形 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

中国地区	
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎(086)292-1162
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目 13-20 ☎(082)295-5011
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司 字鑄銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	

首都圏地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2551	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎(027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5450-7431
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(0552)22-5171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目 3-16 ☎(045)840-3155
埼玉 橘川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

四国地区	
香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(0888)66-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(0886)98-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

中部地区	
石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町 8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

九州地区	
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄 896-2 ☎(0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎(099)250-5657
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎(0985)85-6530	

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0999

よくお読みください

主な仕様

アンプ部

実用最大出力 (両 ch 動作)	: 18 W + 18 W (全高調波ひずみ率 10%、6)
フルレンジ	: 3 W + 3 W (6)
スーパーウーハー	: 15 W + 15 W (6)

FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.0 ~ 90.0 MHz (100 kHz ステップ) TV1 ~ 3ch 音声
アンテナ端子	: 75 (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1629 kHz (9 kHz ステップ)
実用感度 (S/N 20dB)	: 500 μ V/m

カセットデッキ部

トラック方式	: 4トラック、2チャンネル
ヘッド	
録音 / 再生	: パーマロイ
消去	: ダブルギャップフェライト
モーター	: DC サーボモーター
録音方式	: AC バイアス、100 kHz
消去方式	: AC 消去
テープ速度	: 秒速 4.8 cm
総合周波数特性 (-6、+3 dB) デッキ出力	
（ニーマルテープ (TYPE I)	: 35 Hz ~ 14 kHz
イボジョンテープ (TYPE IV)	: 35 Hz ~ 14 kHz
S/N 比	: 50 dB (a WTD)
ワウ・フラッター	: 0.18 % (WRMS)
早巻時間	: 約 120 秒 (C-60)

MD デッキ部

形式	: ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	: 磁界変調オーバーライト方式
読取方式	: 半導体レーザー (= 780 nm) による非接触光学式
サンプリング周波数	: 44.1 kHz
圧縮 / 伸長方式	: ATRAC 方式
チャンネル数	: 2チャンネル、ステレオ
ワウ・フラッター	: 測定限界以下

CD 部

サンプリング周波数	: 44.1 kHz
量子化	: 16 ビット 直線
光源	: 半導体レーザー
波長	: 780 nm
チャンネル数	: 2チャンネル (ステレオ)
ワウ・フラッター	: 測定限界以下
デジタルフィルター	: 8 fs
DA コンバーター	: MASH (1 ビット DAC)
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz (+ 1、 - 2 dB)
S/N 比	: CD ユニット出力 95 dB (JIS A)

本体総合

電源	: AC100 V 50/60 Hz
消費電力	: 50 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	: 195 × 288 × 292 mm
質量	: 5.6 kg

スピーカー部 (SB-PM30)

型式	: 2ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー	
フルレンジ	: 8 cm コーンタイプ
スーパーウーハー	: 14 cm コーンタイプ
インビータンス	
HIGH	: 6
LOW	: 6
許容入力	
HIGH	: 10 W (Music)
LOW	: 30 W (Music)
出力音圧レベル	: 86 dB/W (1.0 m)
クロスオーバー周波数	: 110 Hz
再生周波数帯域	
HIGH	: 52 Hz ~ 22 kHz (- 10 dB)
LOW	: 43 Hz ~ 25 kHz (- 16 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)	: 170 × 287 × 242 mm
質量	: 3.0 kg

電源オフ時の消費電力 ・ ECO モード...約 0.35 W
・ NORMAL モード...約 8.5 W

注) 1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

本機はドルビーラバトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用にするのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・正常に動作しないことがある
- ・商品に破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	SC-PM30MD

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT5147-S

F1099HT0 (D)

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 1999